(明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)

京城日報

本紙定價 一箇月前金壹圓▲六箇月同七圓六拾錢▲郵税金一ヶ月十五錢▲九錢(?)
廣告料金 五號行一行一圓廿錢五號特別二號十二圓▲六號十六錢▲二號一字詰金一圓七十錢
發行編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九番 二長六千九番 (振替京城三〇)

京城日報 齋藤總督の宣明

朝鮮統治の三大綱

東京よりの消息に依れば、齋藤總督は新聞記者の一團に對して、朝鮮統治の要領を語り、之を不逞陰謀團の掃蕩、綱紀保安維持、教育、産業施設の三大綱に要約し、實績を將來に期することを宣明したといふことである。吾等はまだ總督宣明の内容を詳かにせず、且つ所謂三大綱といふことも果して總督が之れを施綱的に掲げたものであるか、或は新聞記者が之を耳にせるまゝ、かくあるべしと推斷して、之を造り上げたものであるか、一切明瞭ならざるも、此の三大綱なるものは如何にも朝鮮の現状に適應した政策と思考せらるゝを以て、假に之を總督治鮮の要道がこゝに在るものと認め、之を紹介せんと欲するものである。

朝鮮統治の大方針は、皇化を八域に遍治することを以て最終目標とするは、併合以來一貫不變のものであるが、齋藤總督が就任の際に、新總督の新施政方針は文化政策に在りと傳へられ其響きは汎く八域に充ち、いつとなく總督を以て文化政策の標化の旗に受け取られる樣になつた。然し文化政策といふことは固より悪きことでないから、總督も之れを否定しなかつたが、所謂文化政策なるものは、其の意味の頗る廣汎にして、如何樣にも解釋し得らるゝが故に、或者は文明諸邦に共通なる政治を想し、或者は武斷主義に對する文治主義の勝利を想像し、又或者は文化政策即ち法治政策であると推斷したが、いづれにしても其新方針は、併合以來殆んど一貫せる嚴毅なる政策に反し春風和煦の態度に出づべく、即ち寺内伯、長谷川伯以來の統治方針を嚴父の愛に比する時は、齋藤男は慈母の慈を以て此の鮮の民に臨むであらうとの考へを抱かないものはなかつた。又、際總督府の新方針が、此方向を取つたことは、事實に於いて認明し得る所であるが、其影響として、或一部の鮮人が不心得にも小狎狃の念を起した樣な心得違ひをしたのは新政策を以て一種の『あまやかし政治』と速了したからで、頭腦の單純なる、寧ろ憐むべきものであるが、是よりして種々の謬迷を惹き起すことがないとも限らぬ。而して此誤解は獨り鮮人のみに止らず、中央政界に於いて間々之に對する疑惑を懷いて居るものもある樣である。是れ今回特に總督の三大綱を宣明された所以であらうと推考する。

此の三大綱中、第一は風霜の威を揮ひ、苟も皇化を阻害するものは、一切掃蕩して、一歩も假借せざるの處措を要するものにして、目下の朝鮮を統治するには、之より急なるものはない。假令ば衛生保健を實施するにも、第一着手として大掃除を必要とすると同じく、各般の施設は之に次いで來るべきものである。即ち此の臨機の處措を了すると同時に、第二綱たる綱紀保安維持は、永久に亘つて支持せらるべきものである。此の綱紀保安維持といふ中にも、嚴毅正勵の意味を十二分に含み居るものにして甘やかし政治などいふことは、夢にも想ふべからざることである。第三の教育産業施設は、將來永遠の効果を收むるを期するもので、教育に就いては、最近の教育令改正、又近く實現せらるべき教育調査委員會の如き、其の片鱗を現じたものと見るべく、又産業に就いても追々適切の處措を見るであらうと信ずる。

之を要するに朝鮮統治の大方針は、皇化洽洽の一點に在ることであるが、時の事情に應じて緩急を圖り、民度に適合する政治を施すは、一に其時の當局の手腕に待たねばならぬ。是れ新舊總督の施政に各特種の色彩を有する所以である。吾人が殊に喜ぶ所は、近時の傾向が政策公開の態度を執りつゝあることで、是に由つて新附の人民をして、豫め其の適從する所を知り、迷路に彷徨するを避けしめるとが、如何にも文化政策の實現と見るべく冀くは猶一層之を闡々まで徹底する樣にしたいものと思ふ。

不忠實なる束縛

聯盟規約と南阿代表

南阿聯邦代表ロバート、セシル卿は國際聯盟新會員に加入すべき國の委員に公文を送り『吾人は聯盟規約第十條が聯盟の同盟國の領土的保全をもなさざる事を關係諸國に對し通じ注意を喚起す併も聯盟規約は斯る領土及び政治的獨立に對する凡ての外來の壓迫に反撥すべき吾人の執るべき手段に制限をなし居れり茲に於て聯盟理事會は斯る場合には如何なる手段をとる方針なるかにつき忠告を與ふる義務あり』と言へり(ゼネバ二日發電)

議會存置を條件

として齊多政府承認か

浦鹽民議會は毎夜開會論議に火花を散らし居れるも大勢は共產黨が直ちに浦鹽政府と議會の解散を主張せるに對し非共產黨は對日關係を口實として是に反對し居れるが結局議會存置の條件の下に齊多政府を承認するならむ(浦鹽電報)

露人優待

總統令出づ

北京外務省發表=在支露國民を優待すべき旨十二月一日付大總統令發表せられたり(東京發電)

アルメニヤ問題と聯盟

國際聯盟は米國ブラジル及丁抹に對しアルメニヤ問題解決に干渉する事を許す事を議決したり(ゼネバ二日發電)

停戰運動開始さる

アルメニヤ對エストニア

アルメニア對エストニヤの對敵行爲を終熄すべき斷乎たる運動開始せられたり(倫敦二日發電)

孫、段提携して

北方を討伐するとの噂 首肯かれる節もある

孫文、段祺瑞兩氏の提携は廣東軍政府再建計畫の進行と共に漸次具體化し最近段派に屬する福建、浙江、陝西三省は西南と結合して直隸派に對抗すべしと傳へられ居れり聞く所に依れば福建督軍李厚基氏は浙江督軍盧永祥氏と圖り北伐軍事公債百萬元を發行することゝし軍政府成立を俟つて獨立を宣言することを決し更に北伐軍の組織を定めたりと傳へらる而して一方廣東軍政府は段祺瑞氏を副總統に選出し徐樹錚氏を陸軍總長とすとの說もあり唯叙上の說が何處迄信を措くべきやは斷言の限りに非ざるも孫文氏等が上海出發前に於ける安福派尾黨間の頻繁なる往來に徴し兎も角も孫、段兩氏の間に直隸派討伐に關する何等かの諒解が成立し居ることは確實なり(上海電報)

東部西伯利の土着民族 (四)

帝國大學講師 鳥居龍藏氏

然らば現今に於て此處に住む土人が居るかと云ふと第一にブリヤード人種が居る。此の人種は蒙古族であるが、如何なる地方に分布して居るかと云ふに地理學的分布は貝加爾を中心としてイルクーツク縣及び後貝加爾州の主にオノン河の流域から貝加爾の西方の地帶に分布して此數約廿五萬乃至卅萬人は存在して居るであらう。其の原は傳說に依ると南方から移住して來たといふことである。夫に由つて見ると内蒙古及び外蒙古人即ち成吉斯汗と同一の脈絡を有つて居る蒙古人である。彼のセミョノフ將軍もオノン河畔で生れたアクシャで其の母はブリヤート人、父親は露西亞人である。セ將軍は彼の成吉斯汗の傳記などを好んで讀んだと云ふ夫程亞細亞チックな頭を有つた人である。私は先頃此のオノン河のブリヤート部落に往つて一週間程居つたが其の部落を見ても分る。其の生活は如何なる狀態で在るかと云ふと牧畜が本位である。此の邊は樹木が少く到る處美しい草原であつて羊、駱駝、山羊、牛馬等の家畜を多數に飼つて居る。隨つて夫等の動物の乳を飲み或は乳を以てクミス又は菓子類を造るといふ風で總ての生活狀態は動物的である。が併し裕かである。茲に於て彼のボリシエヴイキは此のブリヤードを財産階級と見做して彼等の富を奪ふべく目を著けて居る所から彼等は日本兵の撤兵及び反過激派の居なくなることを非常に憂へて何處に依るべきかに惑ふて居るのである。

彼等は蒙古人とは云ふけれども立派に露西亞の教育を受けて露國の大學師範學校或は女學校を卒業した人は澤山居る。部落の學校の先生は蒙古人を敎へるのに露西亞語と蒙古語と兩方で書いて居るからお役場に於ける總ての記述は露蒙兩國文で書かれて居る程で餘程開けて居る。

宗教は國籍は露西亞に屬して居るが其の奉じて居る所のものは矢張り佛教即ち喇嘛教である。隨つて此二十萬若くは三十萬のブリヤートは内蒙古、外蒙古、西藏人などと聯絡を通じて居る。而も此處に居る僧侶で苟しくも僧と謂はれる程の者は悉く西藏で學問した人であるから經文は勿論西藏語であつる、到る所に佛教の寺院がある。是れは妙な關係で露國政府と此のブリヤートとの間の統治の工合が極めて面白い問題になつて居る。

時事小感 (十五)

三笑生

◎朝鮮人の風俗、人情習慣は吾人、朝鮮を研究せんとする者の忽諸に附すべからざる事柄であらう。之を無視しては、朝鮮の統治も、内鮮の融和も、畢竟實績が擧がるまい。言ひ換へれば、如何に文明的の制度施設も彼等に滿足を與へない。のみならず動もすれば不平不滿の基となることがある。今夏虎列拉病の流行に際し、傳染者を順化院に收容せんとして、問題を惹起した如きは、それを物語つて居ると云へる。故に文明的の施設が、如何に必要なればとて、餘りに急いでは却つて仕損ずる嫌があるから、此點は爲政家の愼重に考慮すべき事であらうと思ふ。

◎伊藤公が統監として、朝鮮の施政改善に當らるゝや、先づ衛生思想の向上を圖り、京城に大韓醫院を設け、博士佐藤進氏を院長に擬し、又併合後は、京城に總督府醫院を、地方に慈惠醫院を設け、又施療部を設けて貧困者の爲に無料治療を行ひ、又傳染病流行に際しては、順化院に收容して治療せしむる等、朝鮮人の保健に付き一切を盡して居ることは、夙に世人の熟知せる處であるが、朝鮮人の之れに對する觀念は、吾人の期待に副はない譯ではないけれども、或る點は風俗習慣の相異から、甚だ不評判を買つて居るのである。『總督府醫院や慈惠醫院は外科は成程上手だが内科は駄目だ』とは朝鮮人の總ての意見を通じての批評である。朝鮮人の内科は駄目だと云ふのは、内科だけは草根木皮に勝る藥はないと云ふ觀念と、氷嚢を以て熱を冷やすことに絶對不賛成な處から來る批評であつて、全く何等の根據なき無價値なものには相違ないけれども、朝鮮人間には、相當價値ある議論として、一般に深く信じられて居るのである。

◎近頃聞く所によれば、某々貴族の發起で、私立避病院を建設したいと云つて居るさうであるが、故趙重應の牽ゐた大正親睦會の有志も、先年順化院の外に私立避病院を建て、漢法を以て治療したいと其筋に願つたことがあつた。此願ひは遂に許可されずして終つたが、此皆『西洋醫術は内科は駄目だ』と云ふ觀念から來るのである。予は曾つて順化院を視察したことがあるが、醫員、看護婦の獻身的なるを見ても順化院ほど行き屆いた、親切な病院は他にあるまいと思つた。然も朝鮮人に歡迎されないのは、全く叙上の理由に外ならぬのである。斯くの如く傳染病流行の時など、順化院に入院を強制することが、如何に一般人心に悪影響を及ぼすかは推察するに難からざる所である。勿論此等のことは衛生思想の幼稚な、實に馬鹿氣た話ではあるが、若しも他に滿足さして目的を達する方法があるならば、之れを採用して差支ないやうに思はれる。故に經費自辨で、是非私立病院を建たいと云ふものがあるならば、消毒其他傳染病豫防上の條件を附して許可する如きは、人心の收攬上から見てもよい結果を來すことゝ思はれる。されば予は決して文明的施設に反對するものではない。只だ當分の間ば、斯かる除外例を認むるだけの雅量があつて欲しいと云ふのである。斯くて教育が一般に普及し、衛生思想が進めば、進歩せる醫術の治療を樂むに至ることは多言を要しない。要するに朝鮮問題の解決には、無爲にして化せしむることが其の要諦であらう。

富士見軒席上和岡田詞伯韵 鄭丙朝

碧玉欄干素月臨。黄花紅葉興前游。還存融契翰肝膽。會同慈詩賦襟。身比梅蘭情轉苦。風同瑟夢貴交深。參商還有吾好。嗚呼無忘此日心。

最新刊 大正十年毎日年鑑 …… 大阪屋號

中等教育の素養無き者は現代の活社會に於いて落伍者たるを免かれず

大日本國民中學會

會長◎尾崎行雄 學監◎…… 卒業壹年半◎速成一個年科◎見本つき會則無代進呈 東京市小石川區 大日本國民中學會

世界第一の本會講義録に就きて學べ!!機會は再び來らず速!!に入會せよ

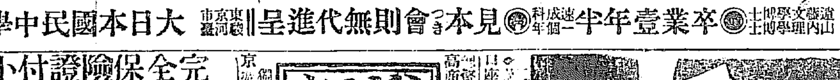
實業之日本

◇歲末の觀測 [財界觀測者] 清水文之助 宮島清次郎 井上公二 佐々木 …… 破綻者續いて現れ來るか?或は平穩に歲の瀬を越すか?
◇米國新大統領ハ氏當選の貿易界の影響 三井物産合社生絲部長 …
◇關東一の勝ある模範的信用組合… 我店の特色を示す標語
◇現物市場改造の目的を述ぶ…東京株式取引所理事 川合良成
◇米國新大統領ハーデング氏の人物…
◇朝鮮の施政に對する米人の苦言…リツター
◇民心を如何に指導すべきか…… 增田社長
◇商科大學新教授評判記 ◇會社銀行野球團評判記
◇常平倉は米價調節に有効か
[財界批判] ◇實田石油の決算と今期 ◇日活今期 ◇猪苗代水電決算と今期 ◇日本製麻 ◇新建株となる郡山電氣 ◇上毛モス ◇日本窒素肥料實質 ◇明治製革の今後 ◇關東酸曹の近況 ◇京成電軌の今期 ◇紡績會社の配當
◇驚くべき米の地下利用
◇房州鮮浦話瀬見物記……北斗星
[特掲讀物] 生存不安と迷信 面白い佛人氣質
◇心臓病糖尿病を一掃したカルクス療法實驗
◇自殺せんとしたる彼れが七轉八起の活實歷

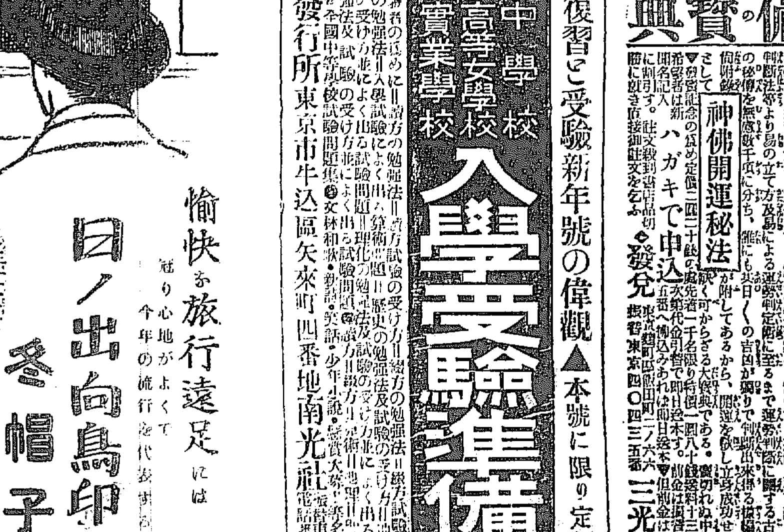
増訂 朝鮮語會話

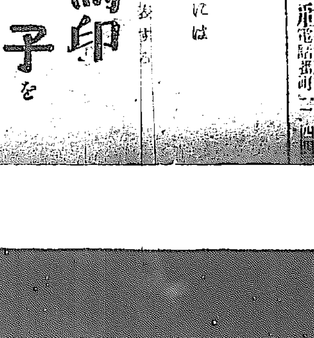
京城府本町 東京 …… 日本正 共著 ポケット形クロース金文字入 …

完全保證付小鳥用改良式ボンプ空氣銃



何れも彈丸二發連進早す …… 常盤號





愉快な旅行遠足には 冠り心地がよくて今年の流行を代表する 日ノ出向鳥印冬帽子を お薦め致します 商標御注意 御最寄帽子店にて御購求を 發賣元 東京 吉安商店

▼復習と受驗新年號の偉觀▲本號に限り定價金

中學校 高等女學校 實業學校 入學受驗準備號

▲受驗者の爲めに=諸方の勉强法=諸方試驗の受け方=總方の勉强法=入學試驗によく出る算術問題=歴史の勉强法及試驗の受け方…

▼發行所 東京市牛込區矢來町四番地 南光社

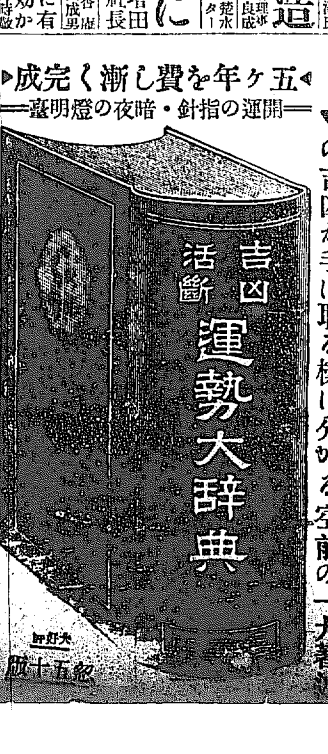
萬人必備の寶典

藤波幽堂先生著 ▼先著一千名限 特價金一圓八十錢

▷五ヶ年を費し漸く完成◁ ―開運の指針・暗夜の燈明臺―

◇◇不景氣襲來して破産者續出す◇◇ 起きるか倒るゝか人一代の運勢から其日々々の吉凶が手に取る樣に分かる空前の一大著述

パノラマを見る樣に次から次へ繰り出せる 神佛開運秘法 ハガキで申込 發兌 東京 三光社書房



諸官立學校 入學試驗問題答案詳解 大正九年度(最新刊)

面目一新せる 本書は高等學校、高商、高工、海兵、陸軍士官其他全國に亘り諸官立學校の入學試驗各科問題及び之れが解答を掲ぐ…

東京神田今川小路 金刺芳流堂

全鮮戸口調査の結果
總人口約一千七百萬人
爰にも見ゆる不景氣の影響

十月一日朝鮮に於て施行したる臨時戸口調査の戸口概數なる者は道の報告に依る現住及現在戸口の集計を其儘計上したる者にして集計の内容に就ては目下精査中にして其結果は概數と多少の異動あるやも計れざるも大なる相違はなき見込なり而して即ち一人にて住居を有する戸數とは世帯戸數を指稱するものにして別に住居を有する者も又し家計を立つる者は勿論家計を共にするも別に住居を有する者又住居を共にするも別に家計を立つる者各之を一戸として計上したるものなり尚人口中には部隊を編成する軍人在監囚人は共に之を包含せず今各表に表はれたる現象に就き説明すれば左の如し

(一)現住總人口

朝鮮に於ける現住人口は一千七百二十六萬四千百十九人にして大正八年末より約十一萬の増加を見たるも斯は左記最近三年に於ける前年より増加數に示すが如く從來朝鮮に於ける毎年の増加と大差なく訝つて從來の年末戸口調査も略正確なりしものと認むることを得るが如し

大正七年増加人口 八八、〇三五人
大正八年同 九二、八七七人
大正九年同 一一四、二二〇人(前述本年十月一日の調)

(二)内地人減少

査に依る増加人口に付内鮮外國人別に之を見るときは内地人現住者は百二十三人を減少し朝鮮人は十萬餘人外國人は六千餘人孰れも増加せり内地人の減少に付ては經濟界等不振の事情に制せられ多少内地歸還者ありたるに因るものと認めらる

(三)内地人移動

朝鮮に於ける内地人の現住者は現在者に比し多きこと一萬餘人なるが斯は必竟内地人移動状況の反影にして從つて交通利便にして内地人の居住多き市街地を有する京畿道慶尚南道、慶尚北道に於て現在現住の差最大なるを見る即ち之等の地方に於ては内地人の諸種の用務を帶ひて滯在することと他地方に比し多きを示すものなり又咸鏡南北道に於て現在現住の差比較的多きは時局關係に因り官吏其他の視察者又は軍隊に附隨する商業者等の現在者の多かりし結果に因るものと認めらる

歐洲移民渡米

太平洋航路に從事する十七汽船會社より米國移民委員に達せる情報に依れば目下歐洲の諸國より米國に渡航せんとして便船を爭へるものは約一千五百名の多きに達すと云へり(紐育一日發電)

掠奪後の光景慘状極りなし内外人居留民を論ぜず全部略奪し邦人商店二十七戸中二十四戸は此難に遭へり

廣東軍の決議

十二月一日廣東軍第一回會議に於て資金籌備、國會議員召集、廣西救護等を決議せり(上海電報)

本年の對外貿易
入超五億圓に上らん

本年中の外國貿易は最初大藏當局は入超四億圓と見積り居りたるも十一月に於て七千九十六萬五千圓の入超となり一月以降累計三億七千萬圓の入超となり結局十二月に於ても輸出入とも略同額と見積るも相當の入超を來たし在外正貨の支拂三千萬圓ありて合計入超五億餘圓に達すると見込なるが之に對する貿易界の受取勘定に屬するもの移民送金其他を合し二億三千萬圓の受取勘定ありとするも差引二億七千萬圓の入超となるべし(東京電報)

銀行家大會

上海に於て開催 來る五日より上海に於て支那銀行家大會を開催の筈なるが目下上海銀行界より五名の代表を出だし北京より三名濟南より五名天津より三名漢口二名蚌埠より一名來會すべく通告あり其の他も上海に來るべしと(上海電報)

去月對外貿易
入超三百萬

大藏省調査に係る十一月中の對外貿易は輸出品價一億三百九十九萬三千圓輸入品價一億六百九十五萬八千圓差引輸入超過二百九十六萬五千圓にて一月以降に於ける累計は輸出十八億六百三十七萬八千圓にして前年同期に比し三千八百六十三萬六千圓を減じ又輸入は二十二億二千九百九十六萬四千圓にして前年同期に比し二億八十四萬二千圓を何れも増加せり(東京電報)

教育總監後任
三大將中より銓補 仁田原、由比、松川

大谷教育總監は屢々報ぜる如く來る二十八日を以て停年期限に達し後備役仰付けらるゝ筈なるが其の後任に就きては近日中に各元帥、陸相、參謀總長等會合の上決定を見る筈にて本郷大將の説あれども或は仁田原、由比、松川三大將中より銓補せらるべしと(東京電報)

客月鮮鐵運輸
頗る不況

客月に於ける朝鮮鐵道の運輸狀況を聞くに當月中貨物運輸は米豆にありては價格の暴落と例の金融梗塞とに祟られ捗々しき出動を見ず又鑛石は鐵事業不振は其の運搬も漸次減退に傾き唯季節品たる燃料の輸送が稍繁盛の氣勢あるのみにて他は概して不況を免かれず之を前月に比すれば季節柄多少の増加に當れども前年同月に比すれば幾分の減退を示し又耐用貨物輸送の狀態は從來と大差なく之を差引計算する時は依然多大の不狀と謂ふべく又旅客の乘車も前年に比し減退を呈せり之を要するに本月の運輸成績は貨客とも概して不振を以て越月せるものと云ふべし

旅客人員、百三十五萬七千九百十九人(前年同月に比し九萬二千六百八人減)貨物噸數四十七萬八千七百五噸(前年同月に比し一萬二千七百噸減)旅客收入百一萬二百三十八圓(前年同月に比し八萬四千十三圓增)貨物收入九十六萬九千三百四圓(前年同月に比し七千三十四圓增)一日一哩收入、金五十六圓九十六錢(前年同月に比し十二圓一錢減)

遲羅公使決定

前代議士政友會の藤吉氏は西源四郎氏の後任として遲羅駐劄公使たるに決定せり(東京電報)

辭令(三日付東京發電)

策戰資材調査委員 陸軍中將 筑紫熊七
同少將 武藤信義
同 村岡長太郎
同 金谷範三
同 岸本鹿太郎
同 谷田茂太郎
同 小泉六一
同主計監 田中政明
策戰資材整備會議員被仰付(各通) 陸軍砲兵大佐 正木甚三郎(以下二十名)
策戰資材整備會議幹事を命ず(各通) 陸軍工兵少佐 小川乙吉(以下二十九名)

定例閣議

三日午前十時より永田町首相官邸に於て閣議を開き原首相以下各大臣出席内田外相より日米新條約交渉の其後及び國際通信會議の經過其他に關し報告ありたる後種々當面の重要政務に就き審議し正午午餐を共にし午後も續行協議の上二時散會せり(東京電報)

陪審法案審議
總會開催

陪審制度に對する法令審議會總會は三日午後一時半より法相官邸に於て開會穗積委員長以下委員十六名並に山岡宮城皆川の各幹事出席豫て起草したる陪審法案を附議し原長、倉富、豐島、江木、花井、小山、飯島の各起草委員より詳細なる説明ありたる後逐條審議し同四時散會せり本總會は向ふ二三日繼續開會する筈なり(東京電報)

新領土豫算
査定に着手

一般會計豫算査定終了と共に朝鮮臺灣樺太關東廳各特別豫算全部は大藏省に提出濟みとなりたれば愈々各特別豫算査定に着手すべし尤も特別會計豫算は一般會計豫算の如く大藏省に於て大斧鉞を加ふる事なく殆ど大藏省に於て大體の承認を與へたる所に基き編成されたる由なれば略ぼ既定の如き程度にて査定を見るべしと云ふ(東京電報)

ダヌンチオ軍
伊太利へ宣戰
十二月三日より有効
ダ氏麾下の諸將と謀議

タイムス紙ミラン通信員の報道に依れば ダヌンチオ氏は伊太利に宣戰し十二月三日より其の効力を生ずることゝせり之より以前の交渉に依りて察するにフユーメにてはカブイリー將軍より何時最後の通牒來るやも知れずと豫期し居たる模樣なり而して此の間ダヌンチオ軍は非常に活動し伊太利正規軍の歩哨に向つて遊征を試み早く其の守備隊を捕虜となせしことあり小銃戰は間歇的に行はれつゝありたるも未だ重大なる勝敗を見ざりき ダヌンチオ氏は部下の諸將と會議し絶えず軍務に忙殺せられ居れりと一新聞記者は此の會議に列席せし一青年士官に對して質問をなせるに同士官は『吾々は非常に多忙なり近き將來に戰爭あるべし』と答へて多く語ることを拒絶したりと(倫敦電報)

別報

フユーメ問題に關し内亂の勃發は切迫せり之れマスタロ條約を履行する爲マクイブリヤ將軍麾下の正規兵がフユーメを封鎖したるに依るダヌンチオ氏は之に對し伊太利の行動を阻止すべきものなればカランチノ國との間には十二月三日より戰鬪を中止すべき旨聲明せり(羅馬二日發電)

◎カブイリヤ將軍はダヌンチオ氏に宛てたる宣言書に於て伊太利政府はラパロ條約を延滯なく履行するつもりなる旨を陳べたり(羅馬一日發電)

◎倫敦タイムス紙ミラン發電によれば三個大隊の龍騎兵(伊太利軍)はフユーメを包圍しダヌンチオ軍と銃火を交へたり政府軍司令官カブクリー將軍は曰く余は當初無用の流血を見る事を好まず力めて之を避けんと試みし爲なりと(羅馬一日發電)

フユーメ封鎖通牒
伊太利から列國へ

伊太利政府は列國政府に對して伊太利は海陸兩面よりフユーメを封鎖せり旨の正式通牒を發せり尚メサージ、エロ紙に依れば伊國ボーラ艦隊は昨日示威運動を行へりと(巴里二日發電)

海底線問題
終に聯盟に廻る
帝國政府態度強硬

七日の外交調査に附議せらるべき中心問題はヤツプ島海底電信線分配問題に關するもの、如し同問題は曩の國際通信會議に於て決定を見るに至らざりしが今回の國際聯盟會議に附議せらるべく之に關し帝國使臣はその執るべき態度に關し指令を仰ぎたるが帝國政府の態度極めて強硬なるもの、如し(東京發電)

豫算編成妥當
[illegible]

[illegible]

自然增收
[illegible]

他の反面を考慮せざる論なりとす反對論者の言の如く政府は決して明年[illegible]如きは之れ[illegible]の反面のみを知りて彼の思想[illegible]

しては時代の推移に伴ひ時代に適應せる政策を取るは勿論にして彼の思想問題に關する社會的施設其の他國際關係に伴ふ[illegible]公使館の大使館[illegible]

聯盟規約改造の爲
米國上院議員の渡歐

米國前大統領タフト氏の談に依れば上院議員より成る米國委員一行は國際聯盟規約改正の爲歐洲諸國當局と協議す可く近く渡歐する筈にて此委員等の權限は甚だ局限されたるものにて聯盟規約を變更せんとするには同委員會にて通過の修理事會の全會一致を總會多數の投票を得て始めて有効なるものなり且理事會委任統治委員會も同等の實權を有せるものなり此件の協議は本年米國と國際聯盟との間に開かるものなるべしと(紐育一日發電)

米國アルメニア救濟

國際聯盟會に出席せるアルメニヤ委員は近來にある米國救濟委員に對しアルメニヤ救濟經費二百萬弗募集に關しウツド將軍が該救濟の幹事に當らん事を切望せる旨打電せり國際聯盟は斯てアルメニヤの土耳古民族軍討伐を提議したる際同指揮官としてウツド氏を推薦せり(紐育一日發電)

日米交渉一頓挫

紳士協約及び日米新協約に就て一時交渉圓滿に進捗し商議纏まる如く傳へられし紳士協約に關しては不完全の點少からざれば更に改訂し嚴重なる條項を挿入せん事を要求し早々意見一致せず又新協約に關しては上院の形勢惡化し居れば兩國政府承認を經るも上院の批准困難なり日米交渉は此所に一頓挫を來すに到れり(東京發電)

移民禁止案提出

米國下院移民委員長ジヨンソン氏は凡て移民の入國を停止すべき法案を同院に提出せり(華盛頓二日發電)

法王廳と佛國

伊國下院は羅馬法王と佛國の外交關係復舊の件を賛成三百八十七反對九十五票にて可決せり尚右羅馬法王廳に佛國大使館を設立せんとする法案同時に可決せられたり(巴里一日發電)

兵亂被害
二千萬圓

上海三日發日清汽船着電に依れば宜昌にて邦人出張のため臨[illegible]汽船の差立を必要とするやも知れず而して邦人の婦女子は領事館に收容し外國人は悉く稅關長官舍に避難せり市中は嚴重に警戒せらるゝ其の後は事變なき由なるが領事及居留民は此際沙市に避難せん事を希望し居れり損害は二千萬圓綿布百擔あり今回の叛逆は師長王懋彦の率ゆる第十八師の一部及張繼鹰部下の第十三混成旅にて月給數ヶ月不渡りのため掠奪せるものにて

下條桂谷氏
日本畫の大家

[illegible]中であつたが一日午後一時半逝去に永眠した享年七十九歲氏は[illegible]藩士の家に生れ幼時より[illegible]門弟の[illegible]六年前畫壇を退いてからは貴族院議員博物館評議員等を拜命して[illegible]

金州觀光團退城

支那金州觀光團一行十七名(三等八十八名)二日朝入港の愛丸上陸船客一等十四名、一等四名、二等十三名、三等九十五名[illegible]

齋藤總督の
實業名士招待
二日夜帝國ホテルへ
大倉男以下五十餘名

齋藤總督は二日午後六時より帝國ホテルに實業家五十餘名を招待せり出席者の主なる者は大倉喜八郎、早川千吉郎、岩崎小彌太、三井八郎右衛門、團琢磨、志村源太郎の諸氏其の他にして主人側よりは總督以下河內山財務局長、守屋祕書官、今村專賣課長、林司計課長等列席の上食堂を開き總督より別項の如き挨拶あり是に對し大倉男起ち一場の重なる謝辭を述べ主客歡談裏に同九時半散會したり(東京特電)

昨秋大命を拜し朝鮮に赴任致しまして以來折を得て各位の御會合を願ひ朝鮮の情勢を御報告致し御協力を仰がんと存じて居りました所今夕御多忙中多數御會合を得ましたことは誠に欣幸に存じます御承知の如く朝鮮統治に就きましては[illegible]施政の方針[illegible]かされました結果治安の維持は申すまでもなく司法制度の確立衞生の改善教育産業交通の各方面に亘り面目一新したことは中外の齊しく承認する所でありますが歐洲大戰の結果世界到る所思想上動搖を生じまして朝鮮に於きましても亦此の禍害を免るゝことを得ず[illegible]以來兎角民心が動搖して內外に亘つて不穩の行動を企てましたが未**だ全く安全を見るに至らないのは頗る遺憾とする所であります**是等は[illegible]の方針に背反する行動でありますから斷じて假借せざる方針であります

[illegible]**民族が一致して朝鮮の民衆に對し無限の親愛と同情とを以て臨まなければならぬと存じます**[illegible]**內鮮人協同して産業の充實を開發し民力の充實を圖り相互の間に經濟上拔く可からざる關係を結ぶことが最も必要である**と存じます[illegible]**故に財界有力の各位に於かれても何卒朝鮮開發の爲一臂の勞を添へられむことを切望**する次第であります[illegible]

米穀出廻旺盛
十一月末在貨狀況

十一月下旬鮮鐵在貨は南行四千七百八十五噸北行八千噸計一萬二千七百八十五噸にして是を前旬に比すれば三百五十三噸の增加を示せり是が原因は米穀の出廻り旺盛なると需要季に入れる燃料並大豆等の出荷又漸次增加の氣配あるが爲めにして滯貨を生ぜざるは輸送の圓滑なるが爲めなりと云へり今左に主なる品種別數量の如し(△印減を示す)

品名	數量	前旬との比較增減
麥	…	△一〇三
大豆	三一七	△三六九
豆粕	…	△二五
雜穀	一二二	△一〇
粟	二六	△五三
鹽干魚	二六	六
明太魚	六	△二〇
鹽	七八	△七四
莨	六五	三三
綿	八九二	八四五
木炭	六六六	三六一
薪	二一八	一五七
細叺	二〇五	二〇五
石炭	四三七〇	△六一〇
木材	一〇〇一	一〇四
石材	二六〇	二六
坑木	一八	△一八
土管煉瓦	一三	△一六〇
石灰セメント	三〇六	△四二
鑛石	一〇四〇	一三〇
其他	一二八二	△六〇六
社用品	一四三八	一〇
工事用品	一〇	△一七〇
計	一五四八五	三五三
內地行	三三〇	△二七五

籾の廻著激增
年內廿萬石を超ゆ

漢江の舟便並に汽車の便により近來京城に廻著する籾は非常な量である東幕廠浦並に漢江沿岸に集まるもの、合計は年內二十萬石に達すべしと豫想されてるが右は豐作の結果もあれば地方不穩の結果安全地帶たる京城に送荷して置くことゝ云ふ

京城在米增加

十一月末日現在の京城在庫米は白米五百五十叺玄米四千四百叺籾四千五百四十叺にて合計九千四百九十叺にて之を十一月十五日現在に比較せば白米は增減なく玄米は二百五十叺の減少籾は千二百五十叺の增加を示し差引總計に於て千叺の增加なり米安を唱へつゝ流石に收穫期に接近せることゝて籾の出廻り多きは當然の現象と謂ふべし

關稅延期決定說
窮餘の一策=期間は一年

朝鮮總督府來年度豫算に就て一般會計に二千萬圓要求の所大藏省にては一千五百萬圓に查定したるを以て齋藤總督は苦心の結果本年度限り廢止の朝鮮移入稅を一年限り延期することに愈々決定せる由なり(東京特電)

內通知
は有つた
水野總監談

移入稅を一年限り延期することに決定せしや否や未だ公電に接せざるを以て直に信ずべからざるも來年度豫算は補給金の減額により約七百萬圓の不足を來したるを以て其結果總督は九年度限り廢止すべき移入稅を一ヶ年延期することに決定せしものならん之に就ては過日總督より不足額を補充する爲め已むを得ざる措置として一ヶ年間延期すべく內通知を受け居たり故に愈々實行することに決定せしものらん云々

鮮商窘窮援助
京城信用貸出增加の事情

此の春以來減少一方であつた京城交換所組合銀行の信用貸出しが最近に至つて增加擡頭の傾向を示して來た即ち左表の如し

月次	當座貸越合計
三月末	八、八五〇、九六三四
四月末	七、五六四、六二六
五月末	七、四七〇、七四三
六月末	七、二一一、八九四
七月末	七、二五三、六三三五
八月末	六、〇〇二、〇二三
九月上半末	五、三五九、九八七
九月末	四、六二五、五三八
十月上半末	四、四〇三、二四三
十月末	三、九〇八、七六一
十一月上半末	三、九八一、四八四
十一月末	四、二二二、六五三

即ち財界最盛期たる三月末には八百八十九萬圓に達したものが[illegible]

の勃興し捗々しからず故に內地の要富なる資本を誘入すれば[illegible]事業も興り、事業興れば民心も之に追隨して經濟的結合が完うする上に於て效果決して尠くないのであると存じます御承知の通り幸ひに朝鮮には農業、鑛業、水產業の天產的產業に於て遺利が尠くないのでありまして開墾や開拓すべき餘地が十分あります然し內地人[illegible]如きは未だ大部分其の設備を缺いで居るのでありますから[illegible]を得ますれば生產の增加は[illegible]に就て加工[illegible]しまして紡織、製糸、製紙、製革等の事業は既に其の緒に就きまして操業が始まるものもあり將來發達を期待し得るものが多くあるのであります其他交通運輸の方面に於ても開拓すべき餘地は決して尠少でないと信じます幹線に接續する支線諸鐵道の如きは最も急務であると存じて居るやうな次第であります

[illegible]

撤兵反對
清津府民決議

二日午後二時清津府民大會代表[illegible]委員第二回大會を開き撤兵[illegible]再び要路及び目下滯京中の北鮮東上委員に打電したり(清津特電)

總督一先歸任
十八日京城着

過般來滯京中なる齋藤朝鮮總督は明年度豫算の打合せ終了を告げたるを以て殘務處理の上來る十五日守屋祕書官を隨へ東京を出發し途中大阪に於ける實業家の招待會に臨み十八日京城着の豫定なり(東京特電)

初年兵入營期
第二十師團管下各隊

第二十師團管下部隊に入營すべき本年度初年兵は騎兵第二十八聯隊は來る十五日午後十一時三十分又步兵第七十八聯隊は十八日午後三時二十分又步兵第七十九聯隊は十九日午後三時[illegible]野砲兵第二十六聯隊及工兵第二十大隊は直ちに所屬部隊に入營する事となりたるが內地集合地點は門司、下の關、廣島、大阪等にて初年兵受領員は左の如し近く出發すべし

(步七七)集合地門司大阪、受領員[illegible]中尉、(北七八)集合地下の關、受領員柴田大尉、中山軍曹、永富軍曹(步七九)集合地廣島、受領員成瀬大尉、早川軍曹(步八〇)集合地廣島、受領員水野大尉、後藤軍曹、田中丸大尉(騎二八)集合地廣島下關、受領員星野中尉、高木大尉、安西軍曹、[illegible]砲集合地廣島、受領員山崎大尉[illegible]工二〇)集合地廣島、受領員有馬中尉

天氣豫報

風流行し氣溫は一般に下降して昨朝より七度內外低し今朝支那東海に低氣壓發生し東北に進行するもの、如く天氣[illegible]

綿布解合決濟

無事決了期待さる 京仁綿布商組合第四回解合金決濟期日は五日にて又殘決濟金は來る二十五日にて決濟金は即ち二十五日に六萬圓宛受授さるべきが[illegible]此の組合[illegible]

銀行證券增加

京城組合銀行に於ける所有有價證券の十一月末現計は二千百三十十萬圓にして十一月上半末に比し二百三十萬圓の增加を來したるが右は公債社債の引受けあるに因る

信用融通

[illegible]をなすやうになつたものと云ふ從つて此趨勢は尚ほ持續すべき模樣にあり信用貸增加に向ふべきだらう[illegible]

投機的に

大きくやらなければ其の怪我は知れてるから[illegible]

急峻な回收

其後銀行の[illegible]に遭ふて八月末には六百萬圓臺となり九月末には四百萬圓臺に激減し十月末には三百九十萬圓に縮少したが右を最低として十一月上半末に八萬圓を增加し先月末には四百萬圓臺に上り之れを最低に比し卅萬圓の增加を來したのは注目すべき現象である此事は財界の最暗黑時を通過し漸次信用の恢復を見るに至つた事も一因であらうが主因は鮮商の窘窮を銀行で積極的援助をなすに至つたゝめであらうと云ふ即ち今日の商品市價なれば取引をし[illegible]

綿糸激落す

こゝで夫々準備されてあるを以て例へ年末資金多忙期に迫るも大なる不始末を出すことなく進捗すべく期待され居れり

三品塊米棉崩落のため綿糸は次の商勢にあるが四日の大阪綿糸期限は當限二百四十圓位に激落し十月の限二百六十圓臺に顯合せをなさん模樣あり綿布亦不勢紡績株も押され氣味なり

寸鐵

▲ついこの一週間前[illegible]のことゝ覺悟明[illegible]は致賀を視察した多分北鮮[illegible]の件であらうと揣摩されて居つたが茲に自日珍探を生むだ[illegible]▲此日致賀警察署內は[illegible]ひめき立ちて未明より非常召集し多數の角袖及變裝[illegible]を市內の要所々々に配置し[illegible]を張つて物々しい警戒振を示したことだ▲何事が出來たかと市民は膽縮めたがよく聞いて見れば致賀驛より下車[illegible]齋藤總督の自働車目蒐けて[illegible]人が爆彈を投たと假定して[illegible]人の捕縛演習の實習をしたのださうな▲此んな馬鹿氣切つたことが世の中に又とあらうこと[illegible]……とは[illegible]致賀から來た[illegible]の話。

人事消息

▲吉田節太郎氏(鮮銀理事)所用四日夜夫人同伴歸城せり
▲拼井生治氏(鮮銀理事)六日大邱支店に向ふ豫定なりと
▲原田軍副官 四日夜元山より[illegible]
▲米國觀光團 チャースツーレン氏外七名の一行は四日朝釜山上陸十時急行列車にて北行(釜山電話)
▲粟谷川正氏(滿鐵運輸部長)[illegible]
▲小山庄三氏(鈴木商店京城支店長)同上十一時發北行
▲横中武造氏(鈴木商店麥酒部長)四日朝釜山上陸十時急行にて北行
▲丹波敬三氏(藥學博士)同上

公會私會

◎總監邸の晩餐會 水野政務總監は十二月五日午後六時半より同夫人博士同夫人外十名を招待し晩餐の饗應ある由
◎下村民官招待會 滿洲總督府民政長官下村宏氏入城に付總督府各部課長等發起にて三日午後六時より花月に於いて招待會を開催せり
◎京電の張宴 木本京電[illegible]る九日京城記者團を花月に招待し年會を催す由

優良移民表彰

東拓にては毎年優良移民の表彰をやつて居るが本年も調査の結果左の名を近く表彰し褒狀並に賞品を與ふるさうである

德島縣人川野潜一郎(一回移民) 高知縣人小田島喜右衞門(四回移民) 德島縣人宮本鹿太郎(三回移民) 滋賀縣人前田喘雄(四回移民)

副會頭認可

仁川商業會議所副會頭は曩に改選の結果[illegible]氏當選認可申請中の處二十六日附を以て就任認許の指令ありたり(仁川)

駐支英國公使

本國より歸任の途にある駐支英國公使サー、ビールビイ、アルストン氏は四日午後五時廿分[illegible]日夜八時南大門通過奉天に向ふ豫定なり

特許瓦業績

特許瓦は十一月末日を以て決算を締切り來る二十三日總會開會の豫定なるが當期は財界不況の影響を受け豫定業績の豫想の四割に及ばざりしも株主配當は一割見當なるべし尚同社製品は耐寒耐久に於て評を博し總督府その他の需要をすべき模樣につき次期は良好の成績を擧ぐべしと

失脚將軍セミヨノフ
元山に上陸
四日朝京城に向ふ(元山特電)
其筋では秘密に附す

露國セミヨノフ將軍は三日夜十時御用船新高丸にて元山上陸運輸部に假泊の上四日朝十一時十分元山發列車にて京城に向へる形跡あり

◎三日夜十時浦鹽より入港の陸軍御用船新高丸は投錨せずしてに出迎への運輸部ランチに何者か三名を乘船せしめ直ちに出港せり右は舞鶴に亡命するの噂高かりしセミヨノフ將軍にして上陸後直ちに運輸部に入れる模樣あるも其の筋にては絶對秘密に附せる爲擧動不明なるも聞く所に依れば四日朝五時軍司令部より出迎への二將校其の他約十名と共に臨時バラス列車に搭乘安邊驛に下車せる模樣なるが四日朝十一時十分元山發列車にて同驛より一等寢臺車を聯結せりと云へば多分同列車にて京城に向ひたるものなるべし

在滿鮮人の救濟
には北支饑民救濟よりヨリ以上の熱心でありたい

▲石原拓務課長が北支方面視察の途次饑餓地方の現狀を見て滿鐵か關東廳か總五萬元を義捐した、そして其の一部として先づ五千圓丈を張孤翼を通じて交付した吾人は北支の開拓や滿鐵や其他の會社個人が財を投じて饑民救濟の方途を講ずるのを見て日支兩國の爲めさ云ふ以外人道さか正義さか社會小さかの意味からでも喜ぶべき事たるを言明して憚らない

▲然し吾人は此の問題に比較的熱心なる反面新附の同胞であるさか第一分であるさ口では盛に骨肉も啻ならぬ樣な事を云うて居ながら在滿鮮人問題が雲煙視されて居る冷淡に取り扱はれて居るのは聊か物足らない感がするのである、勿論北支の饑民さ在滿……西伯利も包含する……鮮人さは數に於ても現時の狀況に於ても將た亦周圍の有樣も同一には見られまいが

▲日本及び日本人さ云ふ立場から考へたならば果して如何だらうさ思ふ、日鮮併合の根本義は決して時代が移り世相が變つたからさ云うて移りも變りもしないのは明かである、否其の根本義は益々時代さ共に明瞭さなり其精神は愈々發揮されねばならぬ筈である即ち日本及び日本人さして鮮人に對する者は一片の義理や人情からではない、此處を十分に嚙み分けたならば直ちに前途の事態は首肯されねばなるまい

▲近來帝國當局も對在滿鮮人問題が若干理解されたさ見えて奉天にも朝鮮人協會なるものが出來、朝鮮總督府や關東廳等から鮮人の福利增進の爲めに若干の交附金があり最近又外務省からも救濟資金さして一萬圓計り送金があつたさ云ふ事であるが此位で事が濟むさは當局者も考へて居ないだらうが實際是では何さも仕樣があるまいではないか

▲協會創立の當初の一萬圓の交附金は旱害の爲水田經營の出來ぬ窮民や饑民に服役又は粟を救助した外には西塔附近に一の授産場が經營されてる其の場內には六人の鮮人が六臺の繩機械によつて盛んに繩を造つてる丈けで現今では繩が二萬七八千斤も積上げてある此の六人の授産は尊いには相違ないが在滿鮮人の饑饉から見ては眞にお話にならぬ間拍子には會はぬ

▲然らば其の規模を大にすればこの議があるかも知れぬが先づ第一に大にすべき費用は何處から出るか既に奉天人士からは三十餘圓さ云ふ少からぬ金圓が鮮人救助の目的を以て寄附されて居る是れ以上尚ほ在奉天の母國人は出資せねばならぬ理由があるから、然らば滿鐵か關東廳か總督府かさ云ふても中々思ふ樣に出ないのは從來の經過によつて明かである、即ち費用の出所がないのが今日の狀態である

▲思ふて此處に至るさ吾人は嗚呼の嘆聲より外に出るものはない、而して反面では兎もすれば良否を質さずして直に不逞呼ばゝりをせんさするの傾があるではないか、是の狀態は別言すれば良民を驅つて不逞の徒たらしむるものではないかさへ見られる、是れで國家の威信が保たれるか如何か、事は此の根本まで進まねばならぬが、北支饑民救濟に熱心なる國家邦人は在滿鮮人の窮境を救ふにも亦より以上に熱心ならん事を希望して已まないのである(奉天一記者)

忠南農作豫想
と米穀大豆鑑定會

本年の農產物收穫高豫想は米百七十萬石大豆三十萬石にて大正七年に亞ぐ豐作なり秋日和打續き出穀も日々盛況を呈せむとする十一月廿五六兩日京釜線天安に於て道內十七ヶ所の米穀大豆の審査員を集合し米穀大豆鑑定會を開催せり各地の出穀は例年に比し概して乾燥調製宜しきも米に在りては赤米の混入增加し中には三等合格に達せさるものありとは昨年の旱魃の爲優良なる種籾を失ひ止むを得ず劣惡なるものを代用したるものあるに基因するもの、如し又米大豆の出穀狀況は概して活氣を呈し前年に比し道內を通し二三割增加するの見込なり

同仁水利の事業(下)

取入堰工事

貯水池より水灘江に落下せしめたる用水は約二里の下位置部馬山面玉野洞に於ける長水灘江の狹搾部に取入堰を設け導水路に取入るゝ設備をなし本取入堰は河床上高さ約八尺にして漏水なからしむるを期し堅牢の工事を施すものさす

水路の概要

取入堰より取り入れたる用水は新に開鑿する水路を流下せしめ蒙利地域に導き隨所に用水を普及せしむるにあり而して取入堰より馬山面西洞の分岐點に至る延長五千百四十三間(約二里四合)間を導水路さし深六尺五寸、底巾三間半さす夫れより西に驅するを西配水路さし古邑面全部を灌漑せしめ東元を東配水路さし雲田方面並に楊川面西面一部に灌漑せしむ、尙ほ東西配水路より分るゝを分水路さし地形に應じ隨所に灌漑せしむる爲め總數十一條を掘鑿し其の延長は實に一萬九千九百二十間(我が九里に達す)而して導水路並に配水路掘鑿工事に際しては鐵道橫過工事さ思料すべき四百二十九間の隧道掘鑿の外潛管工事、鐵道橫過工事、暗渠、土橋の多數等各種多樣の雜工事勘からず

工事施工後の利益現狀

現在に於ける收量は一反當り籾平均六斗なるを以て地主及自作農は格外なるも折半の小作制による小作農は勞銀を換算せば全く收支相償はざるの現狀にあり然るに工事施工後に於ては該地域は沖積層なるを以て地味肥沃にして一般沃田さ同じく一反平均籾三石の收穫的確なるは疑ふの餘地あらざるも假りに內輪に見積り二石五斗さなすも差引一石五斗の增收を期すべし而して籾一石の價格穀價低落時を見込みて十二圓さ見て二十二圓八十錢の計算を現はし內組合費七錢を負擔するも其の殘存利益多額なるを認められ地主、自作農、小作農の各階級共に福祉に均霑するものなる事多言を俟たざる處なり以上の計算により地主、自作農、小作農の收益は言ふも更なり進んで地方產業進展の上より見るも本組合區域內に從來約二萬四千石の年產額を得而も乾香米さして市價より減步せられたるもの一躍七萬六千石の增收を得る事さなり且つ價格に於ても從來の特質種族一變して改良種さなるは勿論施工前には二萬四千石々當り十二圓、此の價格の施工後に於ては十萬石にして二十八萬八千圓に過ぎざりしもの九十一萬二千圓の增收さなり一石當り此價額百二十萬圓差引き地方發展の改善方法さして最も價値ある事業なる事は萬人の認めて敢て異論なきを信ずるを得べし(新義州)

忠南稅務監査

忠清南道廳開口稅務課長は管內の稅務監査の爲め左記の日割に依り各郡に出張したるが四日は禮山にて車田第二部長藤田理財課長さ合し十三日歸廳の豫定なりさ(大田)

十二月二日大田同三日燕岐、天安四、五日禮山同六、七日洪城、八九日瑞山、十一日唐津

愈電話開通
安奉間の

安東縣商民の多年の希望たりし安奉間の長距離電話は十二月一日開通したるを以て同日午前九時より安東、奉天、大連の各商業會議所會頭は互に電話にて說明の交換をなし又同日午後一時よりは安東郵便局に於て官民有志及び新聞記者連を招待して大連及び奉天の有力家及び新聞記者連さ交互通話を交換し後ち奉天安東支局より蓄音機を鳴らして交驩の上記念の菓子を分與せられて散會したるは午後二時過ぎなりし(安東縣)

清津在鄕軍人會

清津在鄕軍人會にては十一月二十八日正午より清津座に於て總會を開會せるが出席者百餘名(會員は二百四十九名)分會長代理四元嘉平次氏勅諭を奉讀し、中島聯隊長の服役令改正に伴なふ注意說明あり來賓さしては葛城府尹、第十九師團司令部附山本少佐兩氏の講演あり役員選擧は堀內特務曹長の指名にて會長四元嘉平次前會長岩田正巳の兩氏當選し、終つて午餐夫れより武道試合を行ひ、午後五時頃散會せり(清津)

清津第三期埋築問題
愈々可決か

清津府岸第三期埋立(魚市場より天馬山下に至る)問題は年來の懸案なるが葛城新府尹は之れを新協議會員の第一次會議に附して賛否を諮れり何分工費三十五萬圓を要し清津の現收にては之を十ヶ年々賦償却の府債させざるべからずさて當局の設計書につきて全員委員(十二名)さなつて愼重に調査し十日までに更に第二次の協議會を開いて議決する筈なるか今や借內土地全く寸土を餘さゞる狀態さて無論可決さるべしさ(清津)

水產試驗場
敷地買收資金
の捻出は府民の寄附で

既報の如く總督府の施設に係はる水產試驗場は愈々釜山府牧之島埋築地に設置せらるゝ事に決定し之れが敷地買收に就いては一、二土地所有者の私慾により買收の相談纏らず一時行惱みの姿さなし居たるが其後二三有志の居仲調停により相互諒解を得る所さなり却つて其幾部分の土地を割きて寄附的行爲に出づる結果こなりたり然るに之が買收代金の捻出につき財界不況の折柄相當苦慮を爲せるもの、如く二日午後一時より香椎釜山府尹は府廳樓上會議室を借り府協議會員會議所評議員學校組合議員を招集し之れが方法に關し相談を申催せるが結局釜山將來の發展の爲め一般府民の寄附に俟つ事に決し敷地買收金額は總額三萬一千百十八圓七十錢にして內一萬五千圓は國庫より支辨し其殘額一萬六千餘圓は釜山府の負擔する所なりさ聞く尙敷地總坪數は九千三百五十坪にして內埋築會社及土地所有者正木、松原兩氏よりの寄附坪數合計二千五百四十坪さ官有道路豫定地四百坪を含み此外之れが完成には西南海岸八百二十一坪の埋築を要すべしさ云ふ(釜山)

補助金下附

太田宗教

開城の經營に係る行旅病人救護所に對する大正九年度の補助金六百圓は十一月二日大田郡廳を經て總督府より交付の指令ありたり(大田)

小池書記生一行

奉天總領事館在勤小池書記生相城鮮道譯、門馬警部補巡査三名は五十餘日間東邊道管內を巡視し一日安東着一泊の上二日朝奉天に向ひて出發したり(安東縣)

清津港でも
朝郵の披露宴

朝郵が図島造船所にて新造せる釜山丸(千六百四十五噸)は大阪清津線に就航、其の處女航海さして廿八日午前清津に入港午後一時より船上に披露宴を張り船長萩原善七機關長西川伊八郵務長米倉義威を幹部さして一等定員九名二等四十名三等二百七十八名を收容し得べく速力十三浬半、客室の構造麗潔なる事從來北鮮航路の下の船に比べても一頭地を抽けるものさ云ふべし、同日午後浦鹽に向つて拔錨せり(清津)

咸北道では牧場附近で
養狐を始めやうと
陸軍側と交涉中

陸軍が咸北に設定する牧場は雄基に候補地を卜せられたり、現在市街の裏手四千町步の廣袤を有する原野さし經費六百萬圓、四ヶ年計畫にて着手さるゝ模樣あり、爲めに其の使用地域の設定につき陸軍側さ交涉を重ぬゝある模樣、牧馬一頭につき係り一人を要する由なれば千頭を飼ふこせば千人の人口を新に誘致すべく雄基港民は此の事業には双手を擧げて歡迎しつゝあり なるが、一方道廳にては同地に養狐を營ましめんこの獎勵方針こ(清津)

諸角旅團長

鐵嶺駐屯第十八旅團長諸角少將は部隊を隨へ一日安東著下車驛中を歸りて新義州に來り日勝旅館に休憩午前九時發の自動車にて義州に赴きたり同地に於ける現地戰術を統裁する爲なりさ(新義州)

屑籠の籠

暇汀生

嗚呼セミヨノフ

極東西伯利に於ける唯一の反過激派軍セミヨノフ將軍も、西伯利赤化の大勢に抗する能はず、今や糧盡き刀折れ、遂に解隊するの已むなきに至つた。同氏の偉終に成らず國を捨て、亡命せる彼の胸中や如何。余は之を想うて涙なきを得ない。されど彼が運命の此に至るべきは、當初より分り切つたことである。(今年一月中の本欄『對露西策』及び『過激派政府の勢力』を見よ。)レーニン政府の眞相さ露國の國情さを察せずして、徒らに武力干涉を試み、我勢力圈を擴張せんさしたるの結果は、今日我國民の目前見る通りである。浦鹽派遣軍、薩哈嗹派遣軍の末路も亦想ひやらるゝではないか。

露國の現狀

露國は今や全歐洲の力を以ても、勝手にならぬ。英國內閣は、愈々屈服して對露通商再開に關する協定草案に同意したさ云ふではないか。米國現政府(民主黨)は、之に反對を聲明しつゝあるも、同國シンヂケートの代表なるヴアンダーリップ氏は、私にレーニンに會して、カムチヤツカ地方廣さ四十萬方哩の租借權を得、且つ露國全土に工場を建設するの契約をしたではないか。全體露國の民心を度外視し、其の反感を買つゝ、我勢力を扶植せんさするのが、既に根本に於て大間違ひである

誤まれる對露策

若し英佛及び我國の對露方針にして、最初より絕對に不干涉の政策を取つたならば、勞農政府自らは、已に全く內より瓦解したかも知れぬ。ユーデニッチさ云ひ、デニキンさ云ひ、コルチヤクさ云ひ、さては又セミヨノフさ云ひ、露國殷多數の國民より見れば、皆反逆の將軍で、それが外國の援助を藉りて、自己の政府を覆へさんさする。露國民たるもの、豈舉つて現勞農政府を助け、是等賊軍に抗せざるを得んやである。詩經にいはずや『兄弟鬩于牆、外禦其務』と是まで英佛兩國を始め、我が日本は、露國を外より搗き堅めて、レーニン政府を安泰ならしめたのである。(十一月廿五日夜稿)

菓子及菓子屋(二)

東京には美味い菓子が多い。本郷藤村の羊羹、カステラ、最中、愛宕下の壺屋、南鍋町、淡路町などの風月堂にて製へる西洋菓子。日本橋榮太樓の甘納豆、梅ぼしなど、いづれも名高い菓子がある。又京都にては六角通、小林の干菓子、三條通り寺町、駿河屋の羊羹が上等だ此の駿河屋といふは、伏見にあるのが本店で、大阪淡路町にも羊羹專門の店がある。余はどちらかといへば下戶であるから、一日も菓子無しには居られず、其の菓子が普通のものでは氣に入らない。京城に來てからも、每年三四回內地に入る每に、東京と京都より澤山菓子を仕込んで來るが、時折り切れることがあつて困る。其の間は已むを得ず明治屋の西洋菓子さ、江川のカステラや羞羊子にて耐へることがある。澤井には上等の菓子は無いやうだが、一體に砂糖の良いのを使ふので、其の味があつさりして居る。余の弟子も今ではかく〱の食道樂である。若い時分に何の思慮もなく、余より仕入れたのであらうが、今では出藍の譽があつて、菓子なども年中東京から小包みにて取寄せて居る。彼は性活淡無慾、殊に金離れのよい男であるが、菓子にはなか〱の執着力があつて、余が之を分捕るのには、每度一通りの骨折ではない。

本欄は編輯整理の際誤つて前後したり筆者及び讀者各位へ謹で謝す(編輯係)

京城郊外觀(十)

關根生

獎忠壇の新施設(二)

獎忠壇は其新運動場に近き城壁上より夫れに從つて南方に緩步しつゝ、下方城壁外一帶遠近の風光を眺望し得るの施設を爲すに依り更に數段の價値を加ふるさべし(同所附近城壁の一部分を取り崩すべき必要あるは之れ心る)同所附近城壁外一帶の景趣は、帝の荒甍草を以て覆はるゝ嶺壁外に添ひ、參差として交はる松の梢の下の樵路の如きを散策したる昔の誰人も稱せざるを得ぬ處であらう、前面透迤たる翠嶂は、我脚下迄に延ぶる翠巒の縱橫其脚を交叉し、白砂と青芝斑々の地肌は恐く大小の松翠を以て飾られ、青嵐頻りに峽陰より起り、頭上靉々たる松籟又耳を洗ひ去つて、人をしてそゞろに塵外にあるの思あらしむるものがある、私は久しく獎忠壇公園に、此景趣を抱擁せざるを惜しさ思ふて居る、然り四周より迫れる山脚さ卉を翳ふ松の翠綠とを以て成れるせゝこましげなる獎忠壇公園は、宜しく更に城壁上に施設し、市民を悅て城壁外一帶に展開せる叙上翠巒の自然美を飽喫せしめて、廣大の氣分を發へしむべきであらうさ思ふ

裏南山の大觀
南山一週の大道路を開くべし

獎忠壇から一たび城壁外に出で丘陵起伏の中を貫いて江岸漢江の部落に向ふ曲折せる一道路上より眺むる大小の丘陵を生ふ峽間の景趣は赤一入の風ものである。一隅閑靜かに搖ぐ翠嶂の間を行く全く身の畫中に在るやうな感がする、本道路は所より右曲して裏南山を走り三坂通り若くば米倉町邊に出でしむるの路を開かば如何、即ち之に依り南山の翠峰を一週し得るのである、同道路は自動車を走らしめ得るの副員になすのでなければ其妙は少い、一、しつゝ、或は松林中を縫々の風樂を耳にしながら或は所々翠綠の稚松生ふ白砂の高臺上、晴嵐を隨喫しながら、自動車を走らしむる事が出來たなら何たる壯快であらう、斯る時は更に江岸に臨める高臺上嵐翠の間に一二線を分岐して親しく眼下溶々たる江上と前方遙に江水に添ふて走れる蜒々たる山脈との雄大なる風光を味はしむべきである

地方寸評

▲釜二浦鐵道違反事件擴大の兆あり而も法制森嚴犯すべからず鐵斧一揮禍根の剿絕を期せよ

▲鐵の釜二浦は果して暴屋鋼臭?の……

▲大邱、製絲工場二千名の女工得ごは云へ同地の爲慨嘆に不堪業休止の……

▲亥角全南知事の官僚講演効果を發し管下の郡守等共鳴倣ふも申義なしこはサテ〱

▲關東、惡感情書記師範部某等上下一致所で始めて治績擧らん

▲公設市場到る處評判面白からず是れ廉價を好餌として粗品のらくら客にせよ

▲公吏の形式的監督恐の役に立たず小賣商人の商業道德に待つ

▲愛婦會の國境警備員慰問大に美擧可く嚴寒彼等諸姉の溫情に朝風甚雪も物こもせざらん

▲本年は溫暖人々喜色あり而も今曉俄然嚴寒襲來す朝鮮特質の三寒の本質ソロ〱發揮し來る

▲本年經費不足官廳吏員年末賞與を氣遣ふ勿論國家公の吏ミ月給生活者の心理狀態同一樣

地方の人事

▲川島社長の新任挨拶 前朝鮮新聞局長たりし川島喜樂氏は今回朝鮮時報社長に就任着釜せるが同社新任參事北井清治郎氏さ共に一日各官公衙を歷訪し着任挨拶を爲せり(釜山)

演藝案內

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 大正館 井町 電話八七三
◎十二月三日より特撰大喜劇 ◎實寫『地中海のクラゲ』長尺 ◎ニコ〱喜劇『可笑郎妙』長尺 ◎一本派 ◎伯 板垣退助傳 全六卷 ◎中妙齡なる烈女なり志あり遂に月表く刺客相頭尙梁が最後な物語る明治政爭の秘密史 ◎伊太利グラディトル會社特作 大活劇「女武者」全五卷 ◎歐洲名映畫カピリアに出演して名聲を博したる花形女優イタリア、マンナニー嬢出演傑作映畫 ◎天下一品尾上松之助の大得意劇 ◎舊劇『村雨雷太郎』全一代 ◎甫生氏卿の臣岡苗雷太郎は古狸退治の功により村雨丸の名刀を賜り後ち諸國遍歷惡人をこらし佐竹家の安泰を謀りし父の仇討せる痛快無比の劇 每月一日、十五日、日曜日祭日晝夜開館

壽町一丁目 電話七八五 壽館
武月四日ヨリ 浪界之美聲者吉田奈良丸一行 蓄音機デおなじみの吉田奈良丸 ○小美久仁の花北雲○田毎月仇討君子 ○小榮良子○水府公兎月○三 女の仇討アイヌへペリカ○太公記○小 松前丸○武士道鬢小虎丸○大切餘興 若前追分節○米山甚句○○○就節多節 い都々逸○田舍安來節○新磯節其他 ろ〱

黃金町 電話一六三七 黃金館
當る十二月二日より三大寫眞公開 △新派悲劇 龜甲組 全四卷 ◎ざんちやん騷ぎ △大活劇 男を導く女 全五卷 本國ゴールドウィン會社特作 名優メエ、マーシユ孃主演 說明者泉春樂、小石川涼花 △舊劇 烈女の千代咲 全五卷 嵐璃寬一郎新撮影 一等 戲劇御屆目景品 二等 同、武等同、參等同、四等 同まで 特選に依り每日新聞記著立會の上開演中 抽籤にて開演なし當籤號は各新聞紙上に廣告仕り候間必ず景品券は發表まで御保存被下度候營業部

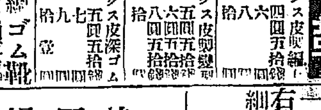
本町一丁目 電話九七番 有樂館 部收 喜樂館
◎實寫 猫の曲藝 ◎滑稽 ジャガタラの財布 ◎日活向島派第一部特作品 ◎新派悲劇 怖へたる女 全四卷 ◎忍び泣く若き女此果敢なき薄命に謂ふ味はい來つた辛、自己の運命を泣かせんさする時誰か有情の人さして涙を絞らざる人の他にあろや ◎米國ユニヴァーサル會社高級映畫公開 冒險女優ルース・ローランド嬢主演 世界唯一大連續武俠的大冒險猛獸劇 ◎虎の足跡 全卅一卷 ◎本映畫は米國西部及極東に關する戰慄すべき奇譚で我國キネマ界を鳴動せしめたる冒險活劇です ◎日活第一部特別製作品第二回封切 ◎怪猫劇 有馬猫 全八卷 ◎奇譚劇として眞に天下に誇る日活自慢の大映畫なり 特に普通每日夜開館

壽町 電話一六〇番 浪花館
◎二十三日より 歌舞笑話所作事本部 項派若手大一座 落語橋の小朝次、落語手踊同圓里、滑稽手品手踊同市樂、滑稽掛合芝居同圓作、同圓吾、落語音曲手踊同圓さん、落語踊同次郎、一人角力外 笑話揮踊同次郎、大切新所作事

本町五丁目 電話二三八番 浪花座
當ル十二月二日の四の繰り替へ 前狂言 欲討怨會我 大切狂言 欲討之場敗戰問答之場 大眼赤澤山より中村山立之場十番斬 切狂言 赤穗義士傳赤垣源藏

小便の病
ね小便小便近き人尿道症膀胱カタルの良藥跡にね小便は直に止る最良藥を知らすハガキにて申込有れ 兵庫縣須磨町 專門治療院 須藥部

りん病
さ消渴は 多年の慢性でも只一劑でヨクナル他に類なき妙藥あり切手三錢送れ人助けに無代で致ゆ 名古屋市南かじや町 武藤龜吉



安心の出來る靴
ボックス皮短編上 一號 四圓五拾錢 二號 六圓 三號 八圓 四號 拾圓
ボックス皮製靴 一號 五圓五拾錢 二號 六圓五拾錢 三號 八圓五拾錢 四號 拾圓
ボックス皮深ゴム 一號 五圓五拾錢 二號 七圓 三號 九圓 四號 拾圓
耐久保險 綱ゴム靴 短靴 金貳圓五拾錢 金參圓 (赤黑共) 金四圓 金四圓拾錢
紳士向 短靴 深靴
御注文の節は足袋文數御通知次第送料實費にて御送付申上候 靴『型錄』進呈但郵券貳錢を要す 卸賣御希望の方は乞御照會
東京京橋幸町 宮內省御用 日野製靴店 電話京橋二七一二番 振替東京九九五一番

御羽織に 羽二重綾附
御袴に 本場仙台平
(御申越次第見本呈上 振替(仙台)三〇八番)
仙台市大町五丁目 藤崎呉服店

京日案內
番外

▲うちみ ▲くじき ほねつぎ 研究の爲め上京中の處歸任候 ○旭町一丁目上 ○池二九五番 仁壽堂

▲讓店 京城目拔の場所にて有利なる料理店今回歸國に付き安價にて讓る希望の方は至急夜間來談又は書面照會あれ 姓名在社

毛皮なめし 並に仕立 鳥獸剝製標本調製鳥類手狩買入 毛皮鳥獸商 京城本町二 電話長二〇六五番

◎ほねつぎ うちみくじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場

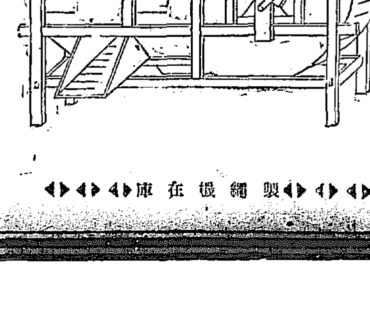
糸卸 附屬品及センコ製造 大阪北區下福島三丁目 ビワコ屋 振替大阪五七一三九

古本 無比 高價買入 ◎是非御試賣下さい ◎本町二丁目 電話參上御報早刻 九五 群書堂

代診入用 內地人に限る 經驗者には高級を支給す 希望者は寫眞と履歷書を送れ 平壤大和町 藤本醫院

測量手貳名(內堂名は工手學校卒業又は同等程度以上)
工夫貳名
製圖工貳名 以上從事(多ヶ年) 右至急募集す 京城水標町三七 山田工務所

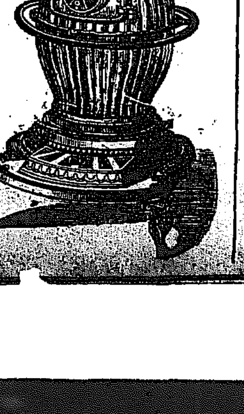
用意は?
米穀調製用具 各種
◇唐箕 ◇萬石通 ◇稻扱 ◇籾摺臼



製繩機在庫
京城南大門通 戶田農具株式會社 電話長三八六番 三〇六五番 振替京城三七五番
製作工場 京城北米倉町 電話三三七〇番
品質優秀 在庫豐富

◎歲暮大賣出し◎
◎明太の子百匁金拾五錢より各種 ◎カラスミ、カラズミ粕漬 ◎明太の子カラスミ同粕漬糀漬 ◎本場みかん、塩魚、干魚、類各種 珍味品
右卸賣直段ヲ以テ小賣ニ提供ス
京城南米倉町市場 貿易商 岩城商會 振替京城一〇〇六番 電話長八四二番

特價提供



在庫豐富 型錄御申越次第進呈
金物商 京城本町三丁目 佐藤半次郎商店 電話長二四三番 振替京城一二二〇番

支店經營者募集
一、經營地 仁川府
一、資金 壹千五百圓迄
右希望者ハ午後四時迄來店下され度詳細面談仕り候
京城南大門外 有田ドラッグ滿鮮本部

崇仁親王殿下
第五回御誕辰の慶事

崇仁親王殿下には十二月二日を以て御愛度く第五回の御誕辰を御迎へ遊ばさる。殿下には益々御强健に御成長遊ばされ、最近の御體重四貫三百七十六匁、御身長三尺三寸七分に達せられ、御生育の優良なるは申す迄もなく御資性極めて活潑に渉らせられ、御幼稚の御發達亦著しく御言語明晰にして御談話は頗る巧妙に遊ばされ、御記憶力强く御規律正しく、其の態度の悠揚たるは一たび咫尺したるもの、驚嘆御稱揚申上ぐる所にして、御天性極めて御聰明に渉らせらる日々の御起床は午前六時乃至七時迄の間にして御清めの後御拜所に入らせられ、先づ伊勢大廟、賢所の御遙拜、次いで兩陛下並に御兄君各殿下の御眞影に御拜禮遊ばされ八時頃御朝餐、正午御晝餐、午後二時過御間食、四時過御入浴、五時頃御夕餐召上られ大體七時前後に御寢遊ばさる。

日常御殿内にては繪畵の切拔き又は彩色、粘土細工、蓄音器等にて御遊び遊ばされ又魚鳥等簡單なる繪畵をものせられ、五十音を御記憶あらせらるゝのみならず、御手づから片假名にて言文一致的に書簡文を綴らせられ、又蓄音器に合せて唱歌をも遊ばされ、木馬又は小兒自動車に召されて御活動あらせらる。晴天の折には御苑内の御運動に數時間を費され、時に主馬寮分厩にて乘馬の調敎を御熱心に御覽遊ばさるゝ等御活潑なる御態度本年に至りて一層加はらせられたるを拜し奉る。或時は新宿御苑にて果實、蔬菜の採收に御餘念なき折もあり、芝離宮、濱離宮に成らせられ釣魚、投網等御覽ありて興がらせ給ふこともありと承はる。殿下御誕生以來極めて御健全に御成長あらせられ、茲に御愛度く第五回の御誕辰を御迎へ遊ばさるゝは誠に恐悦慶賀し奉るべき御ことなり。

債鬼に呪はれた 尹侯爵一家(承前)
家門の衰へを歎き 子息弘燮氏折角の企ても 見事『ヤマ』が外れて……
借金の山=二百萬圓

尹侯爵子息弘燮氏が負へる借財は二百萬圓にも達しさうな巨額である。一青年が二百萬圓!而も其れは二年か二年半の短日時間の負債である。彼れは如何にして此の大金を借り如何して費消したであらうか、青年通有の妓生か、料理屋遊びか、或ひは賭博か、否々彼れは稀なる品行方正の青年であつて、眞に已むを得ない宴會の外は料理屋の門口さへも通らない程の人である。然らば彼は何の爲めに此の大金を費消したであらうか。

氏が早稻田大學政治科を修業したのは大正六年の夏であつた、氏は歸來後家門の衰頽せるを見て大に慨き(當時借金は二十三萬圓餘といふ)之れが回復を圖る爲めに百方奔走し自ら整理の衝に當ると共に廣州郡に廣大なる未墾地を買收し開墾事業を企てたが其の結果は借金の額を大ならしむるに過ぎず焦りに焦つて遂に期米に手を出し一擧に回復を圖つたが之れ亦三四萬圓の損失を見るに至つた

其の後は一切手を引いたが其時は既に高利貸の辛辣なる手中に陷つた後であつて如何にも施すべき術なき時であつた。

高利貸業者は 例の慣用手段を以て脅かしつゝ五日の延期十日の延期にも一ケ月分の利息を取り且つ書替毎に五分乃至一割近い手數料を記入せしむるので二箇月三箇月目には倍額以上の金額に達し瞬く内に二百萬圓近くの巨額に達したが事實氏の手に入つた現金は恐らく五十萬圓を出でまいとの事である。而も其五十萬圓も利息利息と取り立てられたものであつて要するに借金の爲めに借金し其借りた金は甲より乙の高利貸の手に歸するに過ぎないのである。記者の探聞する所に依れば氏が直接借りたるもの及び他の親族の名義を擔保として借財したるもの、內

主なるものは 左の通りである

▲齋藤久太郎、廿九萬五千圓、金炳奭氏の土地を擔保(利月一分八厘)▲柳海昌、八萬圓、同上(利一割)▲渡邊慶松、二萬五千圓、同上(利五分)▲朱達變、五萬圓、同上(利三ケ月二割)▲齋藤久太郎、十五萬圓、李海昌氏土地擔保(利一分八厘)▲嬰盛桑(支那人)、十三萬圓、同上(利三ケ月二割)▲高橋久吉(弟名義)、六萬圓、同上(利月三分)▲毛利元德、三萬圓(李海昇、金炳奭氏連帶)(利九分九厘)▲申佐鉉、二萬一千圓(利三月二割)

▲八木幸次郎 六千圓 ▲加藤鶴松 二千(月一割五分) ▲山崎慶藏 五千圓(外に四百石擔保) ▲關野太郎 三萬五千圓 ▲西川健次郎 二萬圓 ▲毛利元德 五萬圓 ▲杉山重次 一萬圓 ▲城六太 四萬圓 ▲佐尾仙太郎 六千圓 ▲麻生長次郎 六千圓 ▲村田三郎兵衛 三萬圓 ▲賀谷彌七 五千圓 ▲渡邊一藏 五萬圓 ▲京城共同社 五萬圓 ▲藤井鐵造 三萬圓 ▲山崎鹿藏 五萬圓

尚ほ此外にも 大分あるらしいが主なるものは以上の通りであるが李王職に迫つた所で最早對手にせず(前に李王職で二回程整理した事がある)それかと云うて同家を押さへても資産は五十分の一か六十分の一に過ぎないので押さへても費用倒れに終るのみである。然れば今は苛めた金貸業者の方が却つて苛められてをる形である。如何に兇の著くことか。(をはり)

毆つたが是乎 撲られたが非乎
警官と郡守……眞夜中の出來事

府外蓮池洞一六二京畿道金浦郡守李起鎬氏が十月十日午前二時頃東大門署警官三名に毆打され事件に對し氏は本社に書を寄せて『余の今回毆打されたるは胸一千萬の恨事なり』と云つて居る事件の批判は別として其の眞相を左に記す

當時市内 に强盜頻發し各署共夜警を開始して居た東大門署でも例の如く十日警戒して居たが午前二時頃蓮池洞附近を徘徊する一鮮人を見出した三警官は職務上見逃す譯にも行かず誰何した…某は逃げ出したので三警官は追跡して捕へた時『身分のある者だ…名刺を出せ…』と呼んだが勿論名前は名乘らなかつた

三警官は 毆打した毆打された者は前記金浦郡守李起鎬氏で三警官は東大門署內海大竜、韓鼎轍、劉觀均であつた李郡守は翌日東大門署に出頭し內分に願ひたい三警官が免職にならぬ樣にと寬大な心を現はしたのであつたが數日ならずして再び同署に出頭三名は『免職になつたか』と掌を返す如き態度…然し當局では

審議の末 『大正九年十月十日午前二時頃東大門蓮池洞附近密行勤務中通行人を不審訊問するに際し其處置を誤り不穩の行爲に出たるは職務上不都合に付二ケ月間月俸百分の二十を減ず』と正大な懲罰を行ひ更に內海刑事は二十日利川へ、廿二日韓鼎轍刑事は揚州へ、劉觀均刑事は廣州警察署に轉勤を命じた

警察當局 としては李氏の寬大なる態度に感謝し三刑事には相當の處分をしたが同日を出ずして掌を返した態度、讀者は之を如何と見る乎、身分有る人必ず犯罪なきにあらず、名刺提出は何れを先にすべき勿論三警官の處置も惡かつたであらうされど李氏が態度と三警官の合選懲罰公明正大なる當局の處斷に行政執行官の苦衷が諒めるではないか

不正な醫者
モルヒネを密賣して富を積む

原籍佐賀縣東松浦郡玉島村字谷口生れ當時全羅南道海南郡邑內居住醫師草野磐(三五)は去る大正五年十二月十一日慶尙道公醫を命ぜられて同地に赴任して居つたが其間モルヒネを密賣して數萬の富を致し本年四月大邱覆審法院にて罰金五百圓の刑に處せられ續いて公醫を免ぜられたるも改悛の狀なく不正行爲を敢てし居たるが遂に本月十日附朝鮮總督より醫師規則第十五條第一項に依り醫業を禁止され爾後鮮內に於て醫師たるの資格を消滅するに至れり(光州)

面長連の飛行觀覽
會寧附近で高等飛行

(軍司令部發表)第十九師團長の報告に依れば二日會寧附近面長に對し飛行を觀せしむる爲二機を以て高等飛行を行ひ且爆彈投下機關銃射擊を實施したり

戀女房後日譚(三)
戀に破れた永樂小町
夜毎の夢に悶ゆるぞあはれ
戒むべきは輕率な結婚

キウピットの征矢に胸を深く射貫かれた常子は戀の盲目となつた。隱すより色、外に現はるゝで、此頃常子の樣子が落ち付かず始中終

そわくして ゐるのを母親が先づ不審の胸を打つた。父親もそれとなく感づいた。兩親が細ねず眼を注いでゐるのを知らぬ彼女は、端なくも自分の油斷から高一からの手紙を兩親に發見され、其手紙の一節にも明かに常子が純な處女でない事を知つた時兩親は頭をガンと叩き付けられたやうに感じた、わが家の何物にも優れる寶、秘藏の一人娘である、聽ては婿養子を迎へねばならぬ大切の身の上である

斯うした事が 若し世間にパツと擴がつたら信田家の信用は根底から破壞される。兩親は悲憤の涙に溺んだ、そして或夜店の者の寢靜まるのを待つて、常子を膝下に呼んで其の不心得を叱り且つ諭し將來を堅く戒しめた。常子は終夜眼を泣きはらした。高一は其頃徒食してゐた。十八の春常子の貞を破つて以來、彼はまた眞面目な仕事が出來なかつた、直ぐ倦怠を覺ゆる。何處に雇はれても直ぐ俺きが來て飛び出す

或は雇主より 暇を出されることも、決して長續きはしなかつた。彼の心の奧には幾多の少女の魂が宿つてゐた。

常子を誘惑した 藤林高一

高一が松田の家を去つて郷里山口縣に歸つたのは、それから間もなかつた。信田の家から少からぬ金が高一の手に渡されたことも噂された、常子は高一に別れた常子は、肉體の御伴から晩と、破れた彼女の伏目勝の麗しい姿は幾多の男を懊殺せしめた。一時永樂小町と噂されたのも此時である。常子の兩親は高一の事があつてから、家の破滅にならぬ中にと頻りに婿子を物色した。

野越ね山越ね 海越ねて高一の心に通つて居るた。處女は戀を知つてから急に美しくなるものである。殊に戀にしげず、常に心は高一の跡を追うてゐた。常時彼女の夢は

溫順しい態度 と云ひ、その都會的な色白の華奢な姿と云ひ、娘よりか兩親の方が心を傾けるやうになつた、口の心を引いて見ると常子も心を動かしてゐる事が諒めた。そこで二階の學生を介して、縁談は持ち上つた。後まもなく二階の間借りしてゐる醫專の學生の處に出入りする小田ノ進を見出した。

飽迄純な處女 を裝はせて結婚した娘の乾を拾はんとした兩親の挽談は進んで去年の十二月華やかな灯火の影に三々九度の盃を汲み交した。

◇ ◇ ◇

常子、常子の行狀をも探究せずして輕卒にも養子となつた小田又蔵――。既に悲劇の影は華やかな祝言の盃の中に黑い陰翳を漂はしてゐた。

家庭と婦人

衣服史の研究
それから絞り染と 研究に餘念ない 永島判事夫人

一家の主婦として、五人の御子方の母として、かたはら衣服史の研究に又絞染の研究に餘念のない永島夫人は語られますやう『元來私にはこの衣服史なども何んとなく好きでして在學當時から課業などもかへり見ない位この研究に頭をつき込んだものです。さういふ工合で好きな道なもんすでから大勢子供も居りますが今尚つゞけて居ます。永年のここで研究から得ました材料も可なりの量に上り次から次とまとめた原稿も大分積りました。いつの間にか物になる事もあらうかと思つて居ます。それにその興味からつい絞染に及ぼしこれは試みましてからまだ短時日でこれといふ程のこともありませんが、それでも大層宅で致しますと經濟でもあり調法です。手のこんだものは可なりの時間もこれますが、こんなものでしたら三十分か一時間で結構出來上ります』と御夫人の御考案になつた御子達の衣服やら御夫人の肩入れなどあざやかな御手のものを二三拜見しました。御內にはたつた一人の鮮婦人を召し使つてよくも御出來になる事と思はれました

ねいせい 檢溫器と熱
些細の不注意が 失敗の因となる

◇多くの家庭に檢溫器を備へてゐるのを見受けるが此の檢溫器を求める時、使用する場合、注意が足らなかつた爲に飛んだ失敗を演じることがある。◇日本では檢溫器の檢定が行はれないため粗製濫造が行はれる結果、買つた時既に狂つてるるのなど珍らしくない――獨逸のは殆ど完全であるが價格は日本のものの倍位はかゝる――で是非に檢溫器を買ふならば必ず標準檢溫器を有つた醫者に其の狂ひを調べて貰はなければならぬ。◇それから一つは人間平常の體溫は大人は三十六度五分內外で子供は大人より四分位高熱なのが普通であり且つ醫者さへも夕刻は朝より二分位高熱であるから豫めそれを正確に計つて知つて置く必要がある。◇以上の點をよく心得てゐないと檢溫器の狂ひや平溫の計り方の正しくなかつた爲の差異から一途に病氣と信じ詰めて思はぬ騷ぎを演ずることがある。御用心

丸髷會寄附
國境守備隊へ

京城各料理店藝妓置屋及び有志より成る丸髷會にては過般國境守備隊慰問の爲め藝妓大夫會を催したる結果左の通り總收入金一千百三十三圓三十錢の內諸經費を差引き金五百十五圓を國境守備隊へ贈與方本社に委託ありたれば直ちに其手續を爲したり並に其詳細報告及び收支次の如し

▲總收入 金壹千百參拾參圓參拾錢
內譯 金壹千○七拾九圓(切符收入)金參拾參圓(寄附金收入)金貳拾圓參拾錢(雜收入)
▲總支出 金五百拾五圓也(慰問料) 金六百拾八圓參拾錢諸經費(內譯略)
▲會員 齋藤千代、岡田鬼千代、葉山ふみ、世多たね、廣瀨れい、園田晶子、清原せい、田中いさ、平井さく

李仁善孃
全鮮靑年聯合會創立總會に於ける一異彩

過日より鐘路靑年會館に於て開かれたる全鮮靑年聯合會創立會に於ける一異彩はなし元山より入場せる李仁善といふ妙齡の鮮婦人あり孃の語る處を聞くに現在八十餘名の會員を有する元山女子靑年會の書記及び音樂部長をつとめ盛んに鮮婦人の敎養に盡瘁しつゝあり幼にして父を失ひ以來宗敎に身を置き梨花學堂の出身にて常に鮮婦人の無智をなげきて此擧に出たりと

お寺と敎會

▲メソヂスト敎會(旭町二丁目) 五日午前十時『見ずして愛する』ブリユーシ・カー君午後七時半基督敎通俗講演第三『青年の信ずる救主』中村牧師信仰の告白 江原雄君 ▲妙心寺(長谷川町) 五日午前十時より碧巖錄の提唱 參禪隨意 ▲京城日本基督敎會 本月五日から午前十時半人生の凱歌 牧師秋月致君同午後七時安息の基礎

緩衝機(投書歡迎)
宣傳に就て 花峯生

◎本月八日大阪朝日新聞の報ずる處に依れば總督府は宣傳課を新設し擧て內地及鮮內各地を巡回講演して以て鮮及朝鮮事情の宣傳をなすの企畫ありとのことなるが果して事實なりとせば其の效果の如何は措て問はざるも朝鮮に於て朝鮮人が本位とし內地人が通譯を介して講演をなす場合に於て其の通譯者の人選に重きを置かざれば其の講演の旨趣徹底せざるのみならず反て誤解を招くが如きこと少からず聊か左に二三の例を述べて當局者の參考に資せんとす

◎予曾て或る地方に於て臨軍の一將校が朝鮮人を集め講演をなしつゝあるを聞きたることあり其將校は『天の網はまだらなるも洩す事がない』との古語を引用し以て戒さなしたるに對し通譯者は天の雨と聞きて通譯したることあり又或る地方に於て某官吏が『甲の面が富み、乙の面が貧しきときを治むるに孰れが治め易きか必らずや貧しき面より富みたる面の方が治め易きは識者を俟たずして知らるを得べし』と說いて産業の隆昌を計るべからざる所以を說きたるが通譯者は甲の面は治め易きことを解するに當り税金の納め易きこと云々と通譯して通譯したることあり斯の如きことは予の記憶に存する一例に過ぎざるも之等の滑稽なる事例は枚擧に遑あらざる處なるべし

◎講演が聽衆者に對し、多大の感動を與ふるは講演者の熱烈なる雄辯と抑揚明快なる語調、修辭、身振、態度等にあり然るに內地人が國語を以て國語を解せざる聽講者に講演する場合に於ては聽者は殆ど啞者の如きものなるを以て講演者の如何なる雄辯も如何なる明快なる語調も之を聽取し得ず一に通譯者の了解したる通譯に俟たざるべからず故に通譯者は單に國語を解するを以て足れりとせず相當學問あり、辯論の雄たるものならざるべからず況んや人間の記憶力は到底蓄音器の如く同一事を繰返して之を通譯することは不可能なるに於てをや

◎總督府が宣傳課を新設して朝鮮內に於て講演をなすは如何なる方法形式に依るや予の與り知る處にあらざるも叙上の事實に鑑み相當の考慮あらんことを

無根の捏造宣傳
鮮軍の行動は公明正大

間島方面に於ける日本軍の行動に關して往々殘虐の行爲を敢てして憚らざるもの、如く報道せらるゝも之大いなる誤傳にして吾等は之を以て二三の事實を引證して參考に資する所あらんとす

一、十月三十日龍井村附近の部落に於て耶蘇學校及び私立學校燒却の件

率に要するに我軍の行動は彼等不逞の徒を悉滅し良民を保護せんとするにありて耶蘇敎會は彼等不逞鮮人の巢窟にして之れ以て我が軍隊が殘虐なるもの、燒却と誤傳せられ或るひは炭不足等の爲め埋葬に附したるを以て全村を坑殺したりと稱し、新に對しては大に好感を與へ我が軍隊の行軍及び宿營に對しては支那人等の心之を歡迎するに至り又從來不逞鮮人等の集團を以て稱せらる、永久駐兵を懇願し來る者勘からざる狀況にして一部に傳へらる風評の如き何等根據なき說に過ぎざるものなり(東京電報)

率直に申出よ

京畿道水道課では目下水道使用上の調査並に御水道の爲め給水使用者側に在りては漏栓の缺陷其他使用上凡ゆる不滿足に就いても遠慮せん所期の効果を擧ぐるに至らない、されば此際給水使用者側に於いては遠慮なく申出るやう心懸けられたし

荷物を拔取り

府內元町一の二七千付清司(三一)は驛手として南大門驛に勤務中集配中の荷物東號行吉新本町一延命大外行ヤルドイド製人形六個外十數個に百五十餘圓の荷物を拔き取つた

絕世の粹美人 クレオパトラの美揚貴妃の艷は萬龍の嬌も及ばぬ玉山崩るゝ情熱に玉水溢るゝの眞に自ら正に絕 二切手代用ナ一割増 東京神田新川橋南振替 東京五五三三四

嵯峨の假寢 由縁の梅 田舍源氏 (大判四六判錦繪入書) 名付 菊判 送料 代金引換 東京神田表猿樂町 巴文庫

朧夜草紙 男女必讀の粹書 小供騙品に非ず 東京市本郷 笠松商會

內職 特許器發明 東京市九段局區內 帝國工業敎育會

建築技成急 今や建築技手大缺乏 建築業得士

各種書籍總目錄 大阪南區 矢島誠進堂

商業登記 京城地方法院開城支廳 大正九年拾壹月參拾日登記

天下の名銘 ユウクン 發賣元 首藤京城支店 電話一七一番 首藤釜山支店 電話三四三番 首藤博多支店 電話八八番 博多取引所仲買人 首藤定商店

京城本町二丁目郵便局横 中村眼鏡店

結核專門 古賀病院 九州線鳥栖驛前

銃砲は濱の丸に限る (定價表郵呈) 横濱市本町 合資會社金丸銃砲店 (四 村 潤 創 主店)

月やく 害なく下りる 兵庫縣明石市中町 太平堂

大和商會 横山三四次 平壤府本町十番地 室亭

砂利賣卸廣告 建築土工用砂利 約貳萬五千坪 所在地 右御希望の御方は左記へ御照會被成下度候

ちんそう炎 天龍堂

痔疾專門 京城久枝肛門病院 電話二一〇二

總ゴム靴元祖 品質優良 晴雨防寒耐久力保證 神戶朝日ゴム工業所 釜山本町四丁目秋山洋服店方 出張所 杉本販賣部 各種

登錄商標 健胃 胃散 衛生堂 胃弱症の特効劑 本舗 大阪市江戶堀 猪飼史郎藥房 胃病ならイの一番 イカイ胃散

製粉工場賣却 一、場所 京城三坂町一〇三番地 一、事務室、倉庫、製粉工場 一、電話六四七番、製粉機械 其他附屬品一切賣却す 希望者は仁川支那町(復聚棧へ)

わた 蚊帳 蒲團 製品代理店 京城黃金町二丁目 西川綿店 電二七七八番 振替京城八三五一番

自祝開業三週年記念 料理酒類 正價貳割引 十一月二十一日より十二月四日迄 大安賣 京城貫鐵洞百四十番地長橋側 支那廣東高等料理 新世界 二階は宴會用として百人以上の設備あり又溫突も完成致しました

良民は我軍に悅服
〃陸軍省發表〃

不逞鮮人團或は我に反感を懷く者の捏造宣傳に過ぎずと雖も或は世上一般の誤解を招くの虞あり……自白に依り目下各地に軍警……務與の爲め出張中の不逞漢に……しては夫々手配嚴重に……

二、良山討伐……校及び禮拜堂燒拂の件
三、十月三十日龍井村附近の討伐に於て不逞鮮人屍體を火葬に附したるの件

……を燒却するは止むを得ざるものなり又國風に依り賊徒を火葬に附したるを以て全村の……なるかの如く宣傳するに至りてはものごとを……は捏造も甚だしと云ふべし我が……を見るに及びて其の差異の甚だしきを知り漸次悅服するに至り

セミヨノフ將軍は京城へ來る？
亡命地を何處へ求むる？
容易に謎を解かぬ　セ軍の參謀　瀬尾榮太郎氏

過激派の爲に慘敗に陥したるセミヨノフ將軍は御用船勞山丸に搭乘浦鹽を出發したる趣聞こして消息を絶ち或は日本亡命を傳へられ或は

朝鮮か旅順 に亡命すべしなど東京電報は喧ましいのであつたが三日朝セ將軍の參謀とも云ふべき瀬尾榮太郎氏が突如として姿を釜山埠頭に現はし黑い露西亞風の外套に身を包んで人目を避けながら特別急行車で釜山發北上し同日夜入城コッソリ朝鮮ホテルに投宿した。謎の如きセ將軍の行方は日本亡命か將た旅順か朝鮮か

過激派に追 はれた極東の風雲兒セミヨノフ將軍は今後の運命は如何に展開させて行くであらうか。瀬尾氏を京城驛頭に出迎へたる記者は軍服姿にも見へるカーキ色洋服姿に穏しい瀬尾氏に刺を通ずるこ氏は微笑を浮かべながら語る『東京から朝鮮に直行して來ましたが今度の用向は

朝鮮の虎狩 ですよアハヽヽセ將軍の行方ですか……先づ噂の通りでせう兎も角彼れも隨分日本で厭な思をして捲土重來の決心です私は四日チョッと旅行をしますが恐らく京城にも二三日滯在となるでせう何れ彼とも快談される機會があるでせう彼は世間から專制主義の男らしく見られてゐますが寧ろ過激派よりも民主的であり又人を魅了する人間で

隱忍持久の 精神も人の一倍ある快男子です丁度朝鮮軍司令官大庭中將が第三師團長時代シベリヤに居た關係で彼セミヨノフの性格を熟知してゐられる筈です。日本の走狗とか何とか絶へず誤解されてゐるのは氣の毒ですよアハ……先づ其上は朝鮮の現狀は如何ですか昨今では反過激派が

赤化の東漸 を中斷していはれたので赤化の東漸は益々具體化されるに違いないなり、ましたが今後は此障壁が失てるので帝國の爲に寒心に堪へませぬ不逞鮮人も今後は直接赤化の影響を受けるのでしよう十一月十日赤軍の夕將軍が革命一週年記念に際して聲明して曰く今や歐露に於ても極東に於ても

反過激派軍 を剿討したので軈て我が勢力は滿鮮を南下して日本に及ぶべし……斯ふ云ふ聲明に對しては今にして我が帝國は國策を確立して此惡むべき勢力に對抗しないならば國家の爲由々しき一大事です』

擔軍に化けて賊の巢窟を襲ふ
二名を射殺一名を逮捕
夕靄の中で大格闘

平安北道に於いては管内一般に横行せる不逞漢檢擧の爲め警察官の變裝捜査班を各地に出し嚴重なる捜査物色を續け着々不逞漢を逮捕しつゝあるが去る十日夕刻鐵山警察署の

三巡査は 鐵山、宣川、比昌を塗何れも農夫を裝ひ雲山面奉念洞に差掛り不圖前方の烟台山々上を瞥見せるに白衣の鮮人佇立し其下方に獨立家屋あるを發見し附近に於いて内査せるに此獨立家屋は大韓青年崇義團團長と稱する不逞漢張製夫の別宅にして最近不逞漢多數出入し現に數名潛伏中なるを探知し變裝警官は稻を背負ひ芝を荷ひて

擔軍とな り夕靄の中を巢窟に近づき大格闘の末遂に其二名を射殺し其一名を逮捕し目下嚴重に取調中なるが射殺せられたる一名は大韓青年崇義團長鄭元範にして光復軍總營と氣脈を通じ軍資金募集其他の不逞行動を進めつゝありたるものにて現金五百圓並に不穩文書等を押收したりと因に不逞漢の住所氏名は左の如し

大韓青年崇義團々長鐵山郡柏梁面明岩洞鄭元範（三〇）射殺▲同團員金尚乙（二八）逮捕

更に決死隊員を襲ふ

更に翌十一日午前不逞者の一團が尚雲山面と松梁面の境界に位せる高嶺山中の獨立家屋に潛伏せるを自白せるより鐵山警察署長以下十二名現場に急行して之に突擊し光復軍總營の決死隊員姜德萬（二五）を逮捕し短銃其他を押收せるが此……

年賀郵便
宣傳ビラと差出用の袋を京城局から配る
差出人の注意

年中行事の一たる年賀郵便を差出す時期が迫つて來た、今年は年賀郵便特別取扱の効果を完ふ仕樣ご京城局では宣傳ビラこ

差出心得 を刷込んだ年賀郵便差出用の袋こを製作して一般に掲示又は配付するこさゝなり、去る三日よりは逐次要所々の電柱を初め湯屋、床屋其他に宣傳ビラを張出し續いて差出用袋も適當に配付するそうである、年賀郵便は年々歲々特別取扱をやつてゐるが未だ其事柄の主旨が一般に普及されてゐない模樣であるその

證據には 十二月十五日より取扱が開始されても二十五日頃になる迄は餘り差出がない二十八、九日即ち取扱ひ閉止の日頃になるこ俄然激增を來し一月二、三日頃迄續くそうである、一體年賀郵便特別取扱の妙味は元旦早朝に出した形の賀狀が同日の發先便で先方へ屆けられたるにある、ところが一方では年末に

差し迫つて 一時に年賀狀を差出されると郵便局員の能率に自ら限りがあるので手が廻り兼る場合もある、又郵便物輸送の間にあつて滯留や區分運びを避ける爲め遞送上の順路及人員の關係に應み臨時に主要地に於ける局を指定して集中局こし其仲介を經て區分遞送するので自然多少の迂回を免れぬこに依り非常に

速くは行 かぬので年賀郵便は種々手續をして歲末また差迫らぬうちに相當餘裕を見込んで出すべきである、茲に差出し注意を要する事柄を示せば左の通りである

●差出期間　十二月十五日より二十九日まで

●差出方　袋に入れるか紙で包むか又は糸で十文字に束ねて其袋又は包紙に若くは別に札を著けてそれに年賀郵便ご書いて郵便局又は附近の郵便函へ投函すること

●數量　通數には制限なく一通でも差支ない但し外國行きの郵便物は此の限りでない

●注意　『年賀郵便』ご云ふ表示を減らす樣なことがあると郵便局では普通扱の郵便物ご認め取扱當日の日附印を押して其儘遞送又は配達に附するから年賀狀は年内の日附印で年内に配達されて仕舞ふこ云ふ滑稽を生じる尚年賀郵便物を納めた袋や包紙が破れたり又は縛つた糸が切れたりして一般郵便物の中に混じるこ是亦同樣の結果に陷るから『年賀郵便』の表示をすること、袋や包紙が破れたり縛つた糸が解けたり切れたりせぬ樣充分注意すべきまでであらう

海拉爾にペスト續發

海拉爾鐵道病院長の通報に依れば最近海拉爾附近一家屋にしてペスト疑似患者の死亡したるもの支那人三名露人二名あり而して該家屋に於て更に支那人一、露人三罹患し中死亡せしもの二名、支那人一名にして檢査の結果ペスト菌陽性共に眞ペストご確定せり尚支那人間に於ては該病續發の虞あるが如しこ（哈爾賓特電）

赤十字病院に御下賜金

天皇皇后兩陛下には日本赤十字病院に御内帑金五萬圓を大正九年以降五箇年間に亘り每年一萬圓宛を御繼續御下賜の旨御沙汰あり（東京電報）

仙人か俗物か（四）
冠岳山上の老鮮人
黃龍二頭が棲むこ云ふ血の池地獄の傳說

三幕寺から約五丁餘を東方に辿るこ柴觸頭の樣な赤褐色の禿峰がある奇岩點々こして

臺地の觀 がある。白蓮居士の書いたもので『南無阿彌陀佛』光緒二十五年こ彫つた一丈餘の黑岩がある、この禿峰の眺望頗る絶佳で東方は京城龍山一帶の地を一眸に集め得る、西方に仁川の月尾島を眺るここ恰も庭前の築山を見る風景である南に水原南陽灣が遠く白雲の疊ける如くである。高麗恭讓王の臣徐甄、趙狷、南乙珍の三隱が立籠り

李朝を呪 ひ恭讓王を慕つたこ云ふ卽ち戀主臺の九峰峻岳を東南方に控ひ窪に紫色絶佳の一勝山である、鄭圖に紅葉が山岳一面にあつて秀秋の眺めは格別である、此處から西方に向つて下山すれば始興郡の衙都たる始興面に出づる山路である、約十三町を下つた四合目の所に

虎菴寺と いふ一宗寺が老松亭たる中に善男善女の彼岸詣を待つてゐる、虎菴寺を右に見ながら凡そ四五丁下れば昔、黃龍二頭が棲息したこ云ふ一名『底無池』こ云ひ又、血池地獄こ稱する約二百坪位の池がある、而も此の池は小高い丘にあつて

龍の棲むこ云ふ血の池地獄

少しく旱魃の季に凋水するがらうこは十目の見て感ずる處である然るに

此池に限 つて如何なる旱魃にあつても一寸の水量を減ずることがない、又如何に雨季に入つても增水しないこ云ふ古來泉水の如く增減を見たことがないこのことだ雄雌龍が棲息したことは朝鮮古史にもあるが

底無池こ 呼び原因は池邊に陣營を張り一夕煮焚せんこして兵糧米一俵を誤つて池中に落したるに米俵は水中深く沈み遂に影を沒したるが翌朝に至り此池から約十五丁下つた始興面部落にある沼の水中に浮んだこ云ふ傳說が即ち底なし池の由來である、血の池地獄こは山頂に三幕寺あり、虎菴寺等があつて

亡靈を葬 むるに婆婆の惡事は冥途に行つて地獄に折檻されるこ云ふ傳說がある

水道使用者は凡ゆる不平を

用者の各戸を訪問してゐるが未だ一般に水道課が此擧に出た動機を知られて居らず折角の苦心……各自の不自由を感め一は水道施……改善上當局の參考に資するや……

三月頃から本町一丁目房具商……崎行荷物中から手帖類を五回……き取り其他北村貞太郎行靴大阪……近來此種の被害多きに付き……督のを注意緊む

漁夫八十名行方不明
青年團總出で捜索

靜岡縣加茂郡稻取村漁船十五隻は三日朝雨を冒して同村沖合に出漁し漸風雨に襲はれ漁夫八十名行方不明こなり目下同村青年團員總出にて大捜索に努力しつゝあり（靜岡電報）

連絡船で盜難
トランクの中から百圓紙幣十枚を拔取る
船員に嫌疑が掛る

三日朝下關に入港したる關釜連絡船弗愛丸の一等船客波蘭陸軍大佐ウシトケヂツト氏夫妻は三日午前三時過ぎ夫妻の便所に行きし留守中トランクの中に入れ置きし現金一萬圓（内六千圓は朝鮮紙幣にて）所持し居たるが右の内百圓紙幣十枚を何者かの爲め拔き取られたるを發見し大いに驚き直ちに同船事務員に屆け出たるより種々捜索をなしたるも手掛りを得ざるより下關水上署に屆け出で同時に船長より此の旨下關水上署に屆け出で同署より署員出張取調をなし乘客は全部上陸せしめたるも船員は一名も上陸せしめず西細江派出所に連行して取調を續行しつゝあり下關署にては右窃盜犯人は同船員ならんこの見込をつけ月つ端中より犯人を出だすやも知れずより嚴重に調べ居れるが近來同船……（下關電報）

小錢は豐富である
今年の暮は困るまい
穴開白銅七百萬圓こ小額紙幣が二億圓出る

每年歲末に近づくこ小錢が拂底して商人など非常に困るのだが夫につけても例の小額紙幣に對する當局本年の準備の程は世人が最も聞きたい所である大藏省當局は之に對して語る『小額紙幣の現在發行高は二億圓に達してゐるが之を内譯すると五十錢紙幣が約一億五千七百八十萬圓、二十錢同六百六十萬圓、十錢同三千五百四十萬圓である所が右

二億圓は 大正九年度豫定額の全部で從來小額紙幣の需要が多かつた事を示して居るが今日では大分行き渡つた夫に硬貨の補充もあるから二十錢及十錢紙幣は何れも來年三月限りで打切る事にした、詰り今後特に小錢の拂底せぬ限り損券補充外には發行せぬ事に決定して居る二億圓發行の

大部分は 既に市場に出て居るのだが更に損券整理の上は尚幾分市場に出る事になるから本年の暮はさして困る事もあるまい、尚五錢の新穴明き白銅貨は現在約七百萬圓市場に出て居るが本年度内には更に百萬圓鑄造する豫定で更新に出る十錢の穴明白銅貨の本年度

鑄造高は 五百萬圓で既に九月から著手して只今迄二百萬圓許り鑄造が出來上つて居る市場の狀況に依り或は此の暮から出すかも知れぬが僅の額では隱される恐れがあるので一度にごつと出す方針で居る、それから商店其他で未だ代用券を使用する向きあるやに聞いて居るが之は更に積極的に取締る方針になつて居る（東京）』

判決言渡
聯通制事件
被告何れも服役

今春來世人を聳動せしめたる所謂聯通制事件は本年八月十一日咸鏡地方法院清津支所にて夫々判決言渡しありたるに對し被告李秉觀、李秋澤、崔昌學、崔亨南、崔秉學、張昌逸、李雲赫、金麟瑞に對する各被告及李雲赫、金麟等は被告より控訴する所ありたるが去る二十九日京城覆審法院に於いて左の判決言渡ありて各被告は何れも服罪せり

被告尹台赫懲役六年、金秉濃、李相錫、金麟瑞……同年、鄭斗贊三年、朴元赫、朴和穆、宋玩燮、崔昭南、李昌煥、林正發各二年六月、朴斗煥、朴大煥、李壽搨、張天燮、崔衡玉各二年、李陳雲……懲役一年六ヶ月、鄭在錫、尹秉球各懲役一年、李永燦十ヶ月其他十名八ヶ月であるこ云ふ

日蓮主義講演

時日　六日午後六時より公會堂にて
講師　顯本法華宗々務總監　野口日主師
演題　『其後の尼港及浦鹽の近狀』
主催　日蓮主義研究會
後援　京城日報社

流感の豫防注射

人鮮朝ご惡性感冒の流行期が迫つたので内地は勿論新入營者は此際一人殘らず流行性感冒の豫防注射を行ふべきもので京城では總督府警務局衛生課、龍山衛戍病院、鐵道病院等で夫れ〳〵施行してゐるが一般的にも此際豫防注射を行つて置く事が必要であるこ云ふ

東亞日報一應解散
解禁の時期が不明なので

發行停止を命ぜられたる東亞日報は社員職工等を其儘にして解禁を待ち居たりしが解禁の時期殆んご不明なるを以て一應解散するとなり去る三十日を以て社員職工の解散を行ひたりこ

日蓮主義講演會
講演者は野口日主師

東都の敎壇に日蓮主義の指導家こして、多年活動せる顯本法華宗前宗務總監野口日主師は、九月一日尼港慘劇殉難者追悼の爲め渡航し、同地を經て東部西伯利駐屯の我守備軍を慰問し、先頃來滿洲各地に巡敎中なりしが、京城を訪ね、旭町護國寺に留錫中なるを好機こし、本社の後援にて、日蓮主義研究會主催、六日夜六時より長谷川町公會堂にて、視察及び時局に關する一場の講演を爲す筈なり

三名のピストル强盜
二名の警官を擊つ
鮮人巡査は即死し
内地人巡査は重傷を負ふ
鍾路近く白晝の慘劇

四日午後二時四十分頃府内需昌洞九七邊德永方に一名の强盜侵入せしより鍾路署巡査近藤義平同李廷善張込中の右の犯人一名が直に逮捕せんとしたるが犯人は所持のピストルを發射して李刑事を即死せしめ近藤巡査に輕傷を負はせ右の犯人一名を逮捕訊問中犯人は柳昌烈……刑事が追擊の上逮捕せしもの也

時計を盜む

愛媛縣喜多郡大洲村下田口一八九〇山下熊次郎（三二）は太平通二丁目七番地……館に投宿中卅日夜太平通り二新炭商小林駒平方二階に忍び込み銀側時計を窃取し太平通一丁目で某鮮人に質却中を本町署に捕へられた

共謀して詐欺

住所不定李登龍（三三）北米倉町三朴東根（二三）鍾路六の二八四金東惠（三一）李杰（三一）は……

御見送御禮

子爵　保科正昭

奧田少將以下三十餘名
本社見學

步兵第四十旅團長奧田少將は旅團幹部及び步兵第七十九聯隊將校三十餘名こ共に四日午後二時本社を來訪し來賓閣に於て加藤社長の挨拶ありたる後、矢橋記者は材料蒐集、原稿製作、紙面整理等に關し逐一說明し了りて一行は石井編輯部長の案内にて編輯各部並に印刷部、寫眞部等を精察したり

花園町の共同廉賣所
四日から開業

花園町の共同廉賣所は三日午後二時より關係者其他廿餘名を招待して開業自祝の宴を張つたが愈々四日から開業することゝなつた

運動界
明大零敗す
米軍捷つ

米軍對明大軍試合は三日午後一時四十五分より明大軍の先攻にて開始し米軍第三回一點第四回一點第五回一點第六回二點第八回一點を入れ六A對零にて米軍の勝利に歸し三時半停戰せるが全く大人こ子供の角力にて見物の興味を殺ぐ事甚し（大阪發電）

地獄耳

朝鮮ホテルでは新に深サ二丈五尺直徑一丈三尺の鐵製貯水タンクを備へ付けることになつた▲處が大タンクはホテルの門を通過しないので去る一日より三日間四五十人の人夫が總掛りで足場を作り捲上げ器械でホテルの高塀を漸くの事に越させた▲之れでは……

値下廣告

一特等酒　一升ニ付　金貳圓拾錢
一一等酒　一升ニ付　金貳圓也
一二等酒　一升ニ付　金壹圓八十錢
一三等酒　一升ニ付　金壹圓五十錢
一四等酒　一升ニ付　金壹圓廿錢
一並酒　一升ニ付　金壹圓

右ノ通リ即時値段改正仕候也

十二月五日

京城酒商組合

謹啓向寒の砌各位益々御清榮の段奉賀候陳者南山莊第一期計畫工事漸く竣工致候に就ては忘年會新年宴會かるた會等の御用命仰付けられ度此段奉願候　敬白

京城東新地
御料理　南山莊
電話一五一三番

本科講義錄　豫科講義錄　完備
電機學校　募集
規則書無料送附
東京神田區錦町三丁目

◉防水防寒兼備の羅紗マント◉
被服革命の叫び

粗惡品こ同視する勿れ
見本無代送呈

▲本品は嶄新にして品質優良▲本品は耐寒防水一擧兩得▲本品は特別仕立……
▲本品は時勢に適合の……

旭絨布商會卸部

慶安太平記

第三十二席　小金井芦洲講演

正『シチ恩師には此附近にお住居遊ばしまするにや』不『さうであつたか俺はツイ此先の市ヶ谷八幡の社前に住つて居る、左樣なる次第であれば早速俺が道場へ來なさい』正『それでは御近邊で……左樣でございまするか、存ぜぬ事とは申しながら只だ今八幡宮に參詣をいたしましてこゝまで參りましたが、恩師の道場があるとは氣も附きませんで甚だ御無禮申上げました、何卒お許しを願ひます』不『イヤ〳〵その言葉には及ばぬ…お高』た『ハイ』不『お前には初めてだがのう、これは強て俺が駿州由井に居つた時分に弟子にいたした富士松と云ふ前名は申たんだが、當時は改名をいたして民部之助と云うて居る、弟子とは云へその當時は自分の子のやうにいたして居つたるもの、好い所で邂逅をいたした、實に奇遇とでも云ふべきである、道場に直と案内をいたさうと思ふからな　高『左樣でございますか、何うぞ然うして下さいませ　正『それでは民部之助直に來なさい　正『お供を仕ります』案内をされて來たのは市ヶ谷龜ヶ岡八幡宮社前に於て立派な道場、奥へ通され座が定まつてから一別以來の挨拶をし細君のお高娘のお龜と云ふ二人には初見參ですから相應の挨拶をいたしたが、民部之助腹の中で驚いた、若い家内を持つたものだ、自分の子よりは酷く年齢が違ふ、釣合はぬは不縁の因と云ふが、何と思つて此のやうな女房を持つたのだらう、と云つし師弟の間柄で弟子の方からは其んな事は云はれぬが、餘りと云へば年齢が違ふと思つた、色々と歡待を受ける、尤も祭禮の事ですから、道場は全て休みで二日ばかりと云ふものは祭禮を見物に來たりする人なんぞで家の中は大した騷ぎ從つて酒なども盛にやります、その中に祭禮も濟むと例日の通り晝の中は劍術の稽古、夜分になると軍學の敎授、弟子も却々多い、夫ばかりではない、前席にも申し上げました如くに駿府に居る時分に懇望されて上府した位なんだから諸家さまからのお弟子もある、その門弟衆へ楠不傳先生から一々引合はせる、道場へ通して民部之助の腕前を試して見ると云ふと何うして却々優れた腕前　不『これは好いものが來て呉れたわい』と喜んで　不『扨て民部お前も見た通りで分つたらうが、俺も、この晩年になつては却々門人へ稽古を付けると云ふのは大儀でならぬ、來たが幸ひと云ふのも可笑しいが、お前一つ當道場の師範代をして呉れまする樣　正『恐れ入りました　不『さうして呉れ、馬喰町の宿を引取らせる』と云ふので、人を派して馬喰町の宿越後屋金兵衛方の諸拂ひをして、之れから楠不傳の道場へ足を留めた、するとうも民部之助人心を收攬する術が旨い、これは前にも講釋をしましたが、人好のする應待が旨くて、愛嬌は水の滴る如く出入りの者が誰一人ゝつて民部之助の事を惡く云ふものがない、從つて楠先生よりも民部之助の方へ門弟の心が動く　○『どうも楠先生より若先生の方が好い、第一老先生はお年を召つて居るから氣が短くツて不可ん、若先生はさう云ふ事はなし、之にお稽古は荒いと云ひ條、つて壯年の我々には持つて來いだ、好い先生がお出で下さつた　×『全くだ、若い方が勇ましくつて好い』など、民部之助大變に評判が宜しい、夜分になつて軍學を講ずる、これ亦民部之助にては、楠先生が手ほどきで諸事修學をして來たんだから講釋も通して居るから講釋が聞き取り良い。

懸賞川柳募集

▲課題●『寒い事』『大掃除』『薬』
▲賞金●天の句へ壹圓
▲句數●一人五句(以内)
▲締切●十二月十五日
▲注意●京城日報社編輯局川柳係宛のこと、用紙は葉書に限る

○『寒い事』
(例句)寒い事頬を切られた人が來る　(古川柳)
(同)己が首退屈でしめる寒い事　(同)

○『大掃除』
(例句)煤掃きの顔を洗へば知つた人　(古川柳)
(同)彈きながら三味線逃ぶ煤掃人　(同)
(同)數羅巴五年かゝつた大掃除　(劍花坊)
(同)煤の神春と秋とに追ひ出され　(同)

○『薬』(字結びも佳)
(例句)親類が來る赤兒の薬なさい　(古川柳)
(同)野良へ出た留守に一人で薬で臥　(同)
(同)偽薬は假人間にた薬なり　(劍花坊)

○小泉氏來安期　安東取引所創立委員長小泉策太郎氏は來る八日同所創立總會列席の爲め七日迄安東縣に到着する旨通牒ありたり(安東縣)

○中野會頭歸安　安東商業會議所會頭中野初太郎氏は久しく内地滯在中の處三日歸安したる由(安東縣)

安年將棋會

年も愈々迫つた。日に隆昌の域に進みつゝある我が半島棋界諸勇士の爲め沸呂木將棋所主催我社後援の下に左記の日時及び規定に依り忘年將棋大會を開かんとす。我と思はんものは遠慮なく參加して戴きたい。

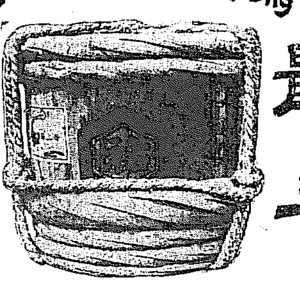
期日　十二月五日(午後一時より)
會費　金一圓五十錢(夕飯を呈す)
場所　明治町浪花館隣　米友俱樂部
賞品　五勝四勝三勝者の全部へ呈す、尚五勝者には我社より優勝メダル贈呈

十二月六日(舊暦十月廿六日)

▲月曜日▲戊戌▲大安▲八白　宿▲閉

▼八白▲焦つても〳〵効果なく油斷なり難き日遠くへの旅行凶
▼九紫▲存外の幸福に出遭ふ日心正しければ何事に用ゐても吉
▼一白▲紛々の起り易く賣りけ買ひ損ひの日大きな取引見合
▼二黑▲思想の變化ある日常の事は妨げなきも新事面白からず
▼三碧▲内外共に滯り多く利益にならぬ事に暇潰す事あるべし
▼四綠▲謹まざれは靡のことより大破れを醸す日小兒衞生用心
▼五黄▲概ね逆運なるも自ら勤むる所に忠なれば發展を見る日
▼六白▲諸事期待に背かず至つて好調の日進むほど大利を占む
▼七赤▲天・和合の日開店も旅も結婚も其他何事にも上吉

嶋屋本店特製



最上醬油

品質第一位　みやさ味噌

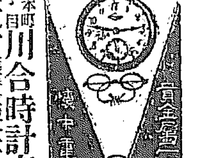
本店　京城　支店　奉天

眼科專門　金井眼科醫院
京城若草町(總督部通り若草町新道路中程)　電一五五六
◎入院隨意　◎日曜祭日診察午前中

京都大原名産
登錄商標　志ば漬
しば漬の誇

▲自然の酸味は消化をたすけて食慾を增す
▲風味絶佳にして内外人の嗜好に適す
▲香氣芳ばしく漬物特有の風味を有す
▲永く貯藏に耐へ開緘の後久しく風味を保存す。
▲品質優秀高雅漬物界の人氣を集中す。
發賣元　山邑京城支店　京城明治町二丁目　電話一八四九番　一四五四番
◎市内主なる罐詰乾物漬物店八百屋等にあり

資本金六百五拾萬圓
積立金操越金百四拾六萬圓
株式會社十八銀行京城支店　京城府黄金町二丁目電話四二〇番五八〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山支店　京城府漢江通り拾參番地電話五五〇番　振替口座京城一八貳三番
同　龍山出張所　京城府元町二丁目　電話一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ事務代理取扱申候



川合時計店　京城本町二丁目　電話一九一八　振替京城一二二九

贈答御用　トリスウヰスキー

冬の酒は接客用としても保溫用としても是非トリスのホツトウヰスキーでなくてはならぬやうに世はもう進んで來て居ります
大阪市東區安土町四丁目　代理店　祭原商店

肌膚を整へ毛髪の色艶を増すに最も適當せる
◎ミツワ石鹸(みつわせつけん)

石鹸を洗顔入浴に使はない方はありますまいが、純正な品質を具へて肌膚や毛髪の爲になり、化粧の下地を整へると云ふ性質の石鹸を使はねば、使つた甲斐がありません、又徒に製造法を舶來石鹸に模倣したものでは、西洋人とは特異の美的嗜好を有し且つ其皮膚組織の異つてゐる本邦人の使用には適しません。
ミツワ石鹸は本邦人の皮膚組織を研究して、其洗滌に叶ふことを第一の條件として精製したもの故、毫も刺戟を感ずる虞なく、温雅な芳香を有し適度の溶解性を具へて、浴室に用ひて半途に溶け崩れる憂ひがなく、頗る家庭經濟に適したもので、肌膚を整へ、榮養を助け、色艶を美しくして白粉の乘伸を自由にし、生彩ある化粧美を發揮するのに、最も適當した理想的洗料であります。

◎ミツワ石鹸の特徴
一、原料の嚴密なる精選は、脂肪に香料に苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひない。
一、本邦人の嗜好に適する温雅な芳香がある。
一、適度の溶解性を具へて、能く水にも溶解し而も浴室に用ひて半途に溶け崩れる憂がない。
一、本邦人の皮膚毛髪の洗滌に最好適であり、頗る實用的なる故に家庭經濟に叶ふ。

◎ミツワ石鹸　定價一個　金參拾參錢
◎赤函ミツワ石鹸　定價一個　金四拾錢
◎ミツワ芳香石鹸　三十個　金四拾五錢

大形　金參拾五錢
中形　金貳拾五錢
小形　金拾六錢
極小形　金七錢
水石鹸　金參拾錢　金五拾錢
内地以外は幾分運賃を加ふ

ミツワ家庭藥 ◎ 肝油ドロップス
丸見屋商店　東京市日本橋區馬喰町四丁目　振替貯金口座東京七一〇番　營業部電話浪花三〇・四四八・四四九・四五〇番

GENUINE COLD-PRESSED
MITSUWA SESAME OIL

品質優良にして香味卓絶、消化吸收容易なる理想的食料油
小平理學博士推奬　滋養食料用
◎冷壓純粹ミツワ白胡麻油(みつわごまのあぶら)
定價　壹封度入壹罐　金貳圓

天ぷら用　サラダ用　調味用
食料油

試驗成績報告
[illegible]

冷壓製ミツワ白胡麻油は、精製せる白胡麻の種子を、完全な冷壓法の裝置で搾取したものである、香味は頗る佳良で且つ消化吸收極めて容易で、食料油として最も完全なもので、品質優良滋養價甚だ多く、植物性脂肪の攝取から榮養の完全を期するには、このミツワ白胡麻油が最良の好適品である。

天ぷらの揚油に就て
天ぷらは甘いが、食べた後で胃腸を害するから困ると云ふ人があるが、これは其油がよく消化吸收されないで、胃腸を害するからである、ミツワ白胡麻油でよく揚げた天ぷらは、輕快な風味を有して、到底も他の油で揚げたものゝ及ばぬ甘さを具へてゐる、その上決して胃腸を害することなく、嘔氣が出たり又は下痢したりすることは更にない、これは全くミツワ白胡麻油の品質が絶對的純良で、容易に消化吸收せられるからである、それ故天ぷら用サラダ用或は其他の調味料として、本品は最良のものである。

(現品縮寫圖)

賣捌―藥舖、化粧品店、和洋酒食料品店、雜貨店

ミツワ石鹸 ◎ ミツワ家庭藥
丸見屋商店
東京市日本橋區馬喰町四丁目電話浪花三〇・四四八・四四九・四五〇番

……三年前に比すれば二三割の減少あるに過ぎず……自然増收の……物價昂騰に伴ひたる結果……る要點を綜合するに（二）要綱方針なる見積過大なること……執せる結果新事業の特記すべきもの……なき事業其他二三の事項に就き批難するものあるも之れ其一面を知りて……對論者は物價昂騰の結果一面に較べ……

朝鮮米優遇 農商務省の盡力

東京米穀商品取引所にては過般決定せる大正九年産米受渡し標準格附改正に關し朝鮮米の格附を狹縮されたれば主務省に於ても規定限高格附以上の優良朝鮮米あるべきを認め優良高格付を伸殺し等級格上げを行ふ要あるべしと注意したるに依り啓沢是れを所管格付調査會に諮り協定し優良朝鮮米の存在を肯定して等級の幾分格上げをなすべしと（東京電報）

手形交換減少

十一月中に於ける京城手形交換所の交換高は七萬三千六百枚二千八百九十三萬八百餘圓にして之れを前月に比し二百十萬圓を減じ前年同月に比し三百五十萬圓を減じ七年十一月と略同額にありと

帝蠶二回拂込

帝國蠶絲會社は三日午後一時より總會を開き第二回拂込金に干し協議の結果十二月十八日一株十二圓五十錢の割合にて二百萬圓の拂込をなすに決し即時株主に通告せり（東京電報）

傭船料

山下汽船會社の今週傭船料は左の如し（東京電報）

若松横濱	二圓五十錢
近海	三圓乃至三圓廿錢
普通遠洋	四圓見當
世界	四圓五十錢見當

○日銀報況 二日現在左の如し 千圓單位

發行高	一、二一四七、六四四
正貨準備	一、一二〇、〇〇〇
發行餘力	一、一二〇、〇〇〇
貸出高	一七九、一〇〇

○鮮銀發日報 三日現在左の如し

發行高	一〇二、四九八、六〇三
正貨準備	五二、六二三、五六四
限外發行	……

○京阪金利 三日現在左の如し

	東京	大阪
コール		……
無條件	一二、〇	一〇、〇
翌日物	一〇、〇	一八、〇
立日物	二〇、〇	
普通發行	二七、〇	三、〇〇

財界閑話

京城組合銀行の信用貸出增大は何の徴のと云つても金融界の殷寒季通過を意味する▲春陽の時代は春陽の候を迎ふる頃になるだらうこの樂觀論も前途の金利低落豫測より出てゐる▲然し何らごうも外國事情は良くない米棉の續落から大阪三品の新き綿絲の新安値を生んで十月の新安値に顔合せをせんとしてゐる▲更に銀安棉安を來し綿絲の二百圓臺を脅かされるやうになつては年末財界も或は樂觀し難いかも知れぬ▲唯十一月の一時代に可なり多量な處分品を見たやうだから思つた程にもあるまい▲十一月の京城手形交換が十月より減じたと云ふのは商況のいかに閑散なるかを語るものだ▲特許セメント瓦の當期は非常の好成績を豫想されてゐたが矢張り財界萎縮のため思はしくなかつた▲安藤專務曰く好いやうに巳れてゐたのでその町に島渡困つてるますよ

株式（小波瀾）

前場揉合ひ

前日引尻商を演ぜし氣先今朝は二十圓八十錢さ手堅く寄付き跡九十錢さ引締り二の廻り金秀の利喰ひに金融優勢に賣添へて再び八十錢さ弛みるも吉見の來客筋盛んに買注文を殺して一千餘枚の賣玉も難なく消化し九十錢さ戾し更にマバラの利喰ひ新規買に堰戰を演じ八九十錢を採り……掛くも買人氣を受けて新押目に二十錢方引締りたるが跡利喰物に押されて二十錢さ崩れ朝新滿毛殖鐵らざる商内ありたり

後場伸悩む

後場も依然八九十錢處の揉合ひ激しく八十錢さ寄付き跡九十錢に付け二の廻りは吉見筋く買ひ一圓さ擡げたるも金肌引締き大賣物を浴びて忽ち九十錢さ押し一圓臺門の爭奪戰激烈を極めて結局九十錢さ引けて東亞新も池田近藤賣りに二十九圓九十錢さ寄付き過ぎ顧念に三十圓さ……朝新も大島中賣ひに二十錢を演じ仲銀谷賣田中買ひに三十圓さ引締れり

強氣觀の根據

現在に於ける内外諸種の事情は極めて不良であり樂觀すべき何等の狀勢の一も認めるを得ざるは却て逆に前途の不良と弱氣觀に因はるゝ强氣觀の起り得る道理あり既に財界は下る所まで下り直り破綻すべきものは既に淘汰されて其の弱點は漸次整理され行くの機運にあり……一般の豫想するが如き恐慌狀態に陷るが如き事なく斯界の前途は今日に於て恐れる程の事はなかるべしとの見方もあり世間一般は日露戰後の恐慌を思ひ……既に整理完了後に强氣さなるは何人にも可能なるが其際には相當回復を告げて居る筈なれば前途を案じられる間に强氣さなるが斯界に處する賢なる方策さ云ふが强氣觀の根據なるもの丶如し

前場の乙部

今前場の乙部手合せは安取十六圓四十錢さ出來せり大新六十三圓森藏二圓二十錢さ出來せり尚ほ内氣配は如左

拓林買▲京取五枚買▲新東七十四圓五十錢買三圓五十錢買▲上取四十四圓五十錢買三圓五十錢買▲進取三十五圓五十錢買▲東亞新三十圓三十錢五枚買▲鮮銀五枚買▲朝殖六圓買▲東亞商工買▲日糖新買

後場の乙部

後場の乙部は安取保野賣吉見買に十六圓五十錢さ引締め上取六十四圓大新六十二圓八十錢さ孰れも昂進し尙は京取端株二十圓六十錢さ出來せり

前場内氣配

東拓新十四圓五十錢買四圓買新三十四圓買三圓二十錢買▲鮮銀十四圓五十錢買三圓二十錢買▲商銀三十九圓買）一圓高▲電興六圓買▲東亞六十四圓五十錢買（一圓五十錢安▲朝煙三十四圓買

四日受渡高

株數八百四十四枚

代金一萬八千二十四圓四十錢

（渡方）有田四〇▲南五〇▲池田五〇▲吉見五〇▲金秀三〇▲塚野三〇▲犬島一〇▲井口五〇▲洪二〇▲田中一〇▲櫻谷五〇▲川崎一〇〇▲新田一二〇▲中津留一〇 京取之部

京城現株市場出來値（四日）

銘柄	前場	後場
京取（寄・引）	三〇、八〇	三〇、八〇
同新（寄・引）	三〇、九〇	三〇、九〇
殖新（寄・引）	三一、四〇	……
東新（寄・引）	……	……
東亞新（寄・引）	三〇、五〇 / 三〇、三〇	三〇、〇〇 / 二九、一〇
仁取（寄・引）	……	……
鮮銀（寄・引）	……	……
同新（寄・引）	……	……
殖銀（寄・引）	四一、五〇	……
實銀（寄・引）	八、九〇	……
商銀（寄・引）	……	……
同新（寄・引）	……	……
漢銀（寄・引）	……	……
同新（寄・引）	……	……
韓銀（寄・引）	……	……
東拓（寄・引）	……	……
朝上（寄・引）	……	……
朝紡（寄・引）	一三、五〇	一三、八〇 / 一三、七〇
滿毛（寄・引）	一三、五〇	……
京電（寄・引）	……	……
同新（寄・引）	……	……
電興（寄・引）	……	……
東拓（寄・引）	……	……
朝煙（寄・引）	……	……
朝郵（寄・引）	……	……
殖鐵（寄・引）	八、三〇	……
中鐵（寄・引）	……	……
滿鐵（寄・引）	……	三〇、〇〇
同新（寄・引）	……	……

北濱見聞

（受方）中津留三〇▲新田二五〇▲櫻谷一〇〇▲洪二〇〇▲川崎一〇▲田中一〇〇▲犬島一〇〇▲金秀二〇▲池田一〇▲井口……

電興	一〇〇	古閑	櫻谷
鮮銀	二〇	新田	吉見
實銀	四〇	田中	吉見
殖銀	五〇	田中	犬島
京取	五〇	四川崎	中津留

皮肉の下譴り

年末題念は益々濃厚の色を帶び來り更に綿糸の激落に附随して人氣の落付さ共に不知不識の間に賣込まるゝやからずさせば株式の案外底意氣丈を示すは勿論も綿糸の引返しに乘じて盛返さんかの形勢を藏し居るに似たれば此の際人氣の裏に行かんとする向が少くなからんかとす

餅搗相場如何

年末に入るさ共に一般氣迷は益々深くなる多數の懸念を要する資本家筋に依つて持合相場を生ずる事もあり……年末豫測の際に於て資本家の買人氣に押されたる事は曾て見ざる所なるも今年は特に……弱め餅搗相場に似たる形勢を採りなるも今後の資買如何にもより相場の結果如何によらべし

石油株の昂騰

八八股の合後に於ても漸く強氣を……石油株は……商内の……に於ける日本石油の昂騰は……前場より同株の……を演じ……中心に於て……に昂騰し……株は他に……の……今後の……

紡績株買警戒

海外事情の惡化と綿糸の大崩落を受けては紡績株の不味を招致する何等の題味を失はざる所なるが進日の銀安米綿安に最早前途大なりとするも大ご見るも七割乃至鐘紡等の暴落に……怪しむに足らざるが如き現状あるは既に新株に於ては綿糸の下落の直接の影響とはならさる……て居るを見るも……落ちも悩み……の……を……しむに……株……擁的の爲め積立金を流用したるもの然る以上他會社又類するに理由さしての買進みも一考の價値あらんかさ

東京現株特電

銘柄	四日前場	三日後場
鮮銀	一三一、二〇	一三一、二〇
同新	三一、三〇	……
東拓	四七、二〇	四六、〇〇
同新	一二、五〇	一二、五〇
滿鐵	一〇四、〇〇	一〇二、〇〇
同新	……	……
殖銀	一八、五〇	一七、五〇
同新	一〇四、〇〇	一〇三、〇〇
東株	一四二、五〇	一四一、五〇
同新	一二三、五〇	一一八、〇〇
進取	一三、五〇	一三、七〇
滿毛	三六、五〇	三六、〇〇
朝紡	一二、〇〇	一一、五〇
滿糖	二一、〇〇	二〇、〇〇

大阪株式特電

銘柄	四日前場寄付	三日後場大引
大株	一一四、〇〇	一一二、四〇
郵船	一三八、〇〇	一三九、二〇
同新	五四、九〇	五五、三〇
商船	……	……
同新	……	……
鐘紡	三三九、九〇	三三八、九〇
同新	二二五、一〇	二二八、〇〇
東紡	一一三、〇〇	一一四、〇〇
東糖	七〇、〇〇	七一、〇〇
上取	六二、九〇	六一、九〇

銘柄	四日前場大引	四日後場寄付
大株	一一九、〇〇	一一〇、〇〇
同新	三五、六〇	三〇、七〇
鐘紡	一三五、六〇	一三七、〇〇
郵船	……	……
同新	六七、九〇	六七、三〇

株界夕片

此のごろの京取株の移動は島渡付立つの七十圓台より八十圓台に人氣頭つて賣り買ひ……鐘紡……金秀の……らしたるさ……十に掛け……其の……此の頃は多大の玉を押して……中が殆んど利喰ひを了して……ひ……越さんさして居るあるに……する▲之れが改制……アレ丈けの大玉を賣抜けんとすれば相場は納飛落しの後惜みを見せねばならぬのだが依然二十一圓臺を維持して居る氣勢を示すのは前者以上の……日の東取の三日取引に愛想を盡かして手控へて居た玄人筋が改制を語る共に食指を動かし來た▲結果を見ると吉見秀田中の大手に變るさ共に新田の買對抗さなつた之に加ふるに川崎の者あり井口櫻谷も決して悔り難き猛手筋であり鼓頭弱の大相撲は今やガツシと四ツに取組んで聽客は手に汗を握る場面さなつたが休日控への今後が見ものだ▲東亞煙草は前日舊株七八圓あらう株四五圓方の暴騰さなつた時節柄其の上げ方が餘り大きかつたから此の者めた氣迷ふものもあつたが果して新株はマダ目立た押目を見せぬが舊株六十六圓より四圓五十錢さ一圓十錢方の安氣配である尤も八圓方も引下げた揚句だからコレ位の押目は別に氣にする程の事もないが……▲朝紡が近頃連日買はれるのは內地の紡績高に刺戟されたのか但しは資質買ひか滿毛殖鐵も亦能く出來るやうになつた

主要株歩み値段

	京取（前場）	京取（後場）
	二〇、八〇	二〇、八〇
	九〇	一九、八〇
		九〇

出來高 甲 四千八百二十枚 / 乙 六十七枚
累計 甲 一萬六千十枚 / 乙 六百二十二枚

大阪堂島米穀取引所仲買人
の 野田商店
大阪堂島濱通一丁目
電話 北 長 一〇五八 / 長 一一五九 / 長 三〇二
特 電略（ノ）又ハ（ダ）
營業案内 進呈

大連株式特電

銘柄	寄付	止め
鈔新	二二二、〇〇	……
同新	二二六、五〇	二二四、九〇
東新	二二二、四〇	……
東新	一二〇、〇〇	……
上取	六〇、一〇 / 六二、三〇	六一、九〇

○三日

	寄付	止め
進取 當先	三六、七〇	三六、五〇
取引	三七、四〇	三七、三〇

安東株式特電

○四日

	寄付	大引
安取 當先	一六、一〇	一六、一〇
	一六、三〇	一六、三〇
出來高	一四〇枚	

米況（新安値）

仁川期米 四日前場

前日の引跡阪地の氣配安さ共に各地正米の不勢を移して人氣益々引立たず立會へば當限來ざるも中十八圓二十六錢先十七圓四十五錢さ何れも頭重く寄付きたり

▲第二節 大阪安二十三圓五十三錢の安移りにより……

兵庫五十三の安移りに

後場小强し

▲第一節 當限來ず中十八圓二十五錢さ始め先限は新甫……
寄七十二錢の高值に先十圓五十八錢さ十二丁高に寄付たり
▲第二節 當限來ず中八圓三十錢さ小堅く先五十五錢より三錢さ押し七

仁川海岸町四丁目三番地
金井炳準仲買店
電話 一四九番 / 長三四番

	寄付	後三場日
一節	七〇	七〇
二節	七二〇	七四九
三節	七六〇	七五〇
四節	七八一	七五〇
五節	七二一	七五一
安値	七四五	七四五
高値	……	……

四日前場

一節	七四五
二節	七四六
三節	七五七
四節	七九〇
五節	七五三
六節	七七二
公定值段	……

平均值段▲ 當限 七九〇 / 中限 八〇三 / 先限 七五七

現在組高 當限 一萬二千七百石 / 中限 二萬六千石 / 先限 一萬二千石
出來高 十六萬三千四百石
累計 九百〇三萬四千百石

仁川米豆取引所仲買人
㊇仲買店
長電話一〇五

復五十錢安

仁川米豆取引所も同樣五十錢安を報せり

東京正米安

連日低落を報じつゝある內地正米は遂愈く低抜け的さなり東京は今朝又入れ六十錢安入れ大阪も

新米格付發表

右月納會せし十月納會……能穗より初めて十一限の渡米さして僞石に對する格付けは左の如く發表されたり

仁川檢查米 一ロ一圓二十五錢格上げ ……
二ロ六十錢より七十錢格上げ
但し新古米の格違は此の外さ
し二限迄で附するものさす

當中逆に強硬

國地は本日より本期に復し期近は根弱の正米安に壓迫せられつゝあるも當中は存外手堅く益々鞘の擴大を示すも當市場は逆に先限のみ不勢を呈して居るのは……以上賣……買方の……り……を……して……

丸吉買は鞘取乎

相場の鞘さしては未だ一段の不勢は免がれ難しさ雖も何分値頃の底さきいふ丈に仕手の威力に支配され易き場付にあれば一概に斷言し難きのみ……より又復疑問の買物現れ盛んに買玉を集めつゝあるが果して何人の買なるか……以上の……るも相場の……

期米雜觀

▲第三節 當限來ず中八圓二十九錢（立會中）
▲第四節 當限來ず中八圓三十錢を引し……
▲第五節 中八圓三十四錢先七圓六十五錢
▲第六節 ……

京城穀物延取引

仁川米豆取引所仲買人
㊂ 仲買店
電話 九〇 / 長九〇一 / 電略（ミ）又八（カネミ）

京城正米市場

各地正米の連續的安報を受けたる當市場は今朝更に軟弱に陷り三等合格十九圓七十錢地拂上玄米十八圓四十錢地拂十七圓七八十錢を唱ふるも買人なく精米筋の多くは手持米の潤澤なる上地方より新規賣物委託しありと

白米更に緩む

白米は内地注文の杜絶さ原料安に相場らず一等米二十四圓揚みを唱へて益々不勢なり

在米稍減退

十一月末日の京城在米高は玄米四千百二十一叺白米五百五十叺計四千九百二十四叺にして同月中旬の現在に比し二百余叺の減退を告げたり

在庫穀物高

前月末現在の當地在庫穀物左の如し

▲大豆 ……▲小豆 ……▲胡麻 ……▲綠豆 ……▲粟 ……▲雜穀 ……

大豆

內地筋の買進み……九十五錢さ押し……

前場商內

十二月二十五日渡出來不申
一月十五日渡 一九、二〇▲二百石一九
一月十五日後場商內
一月末渡 出來高五百石
玄米十九圓五十錢より五十六錢にて

下關期米特電

	寄付	止め
當限	……	……
中限	……	……
先限	……	……

各地期米特電

○三日後場止め

東京	大阪
……	……

大阪三品特電

四日前場寄付

	前場大引
十二月限	……
一月限	……
二月限	……
三月限	……
四月限	……
五月限	……

橫濱生糸特電

○四日前場

當限寄付 一五二〇〇
先限寄付 一五一、六〇

綿糸又復崩る

大阪三品は今朝銀塊四十四片四分三の氣丈の特米棉一圓安株式市況の不勢等加はりて更に氣崩れ當限二百四十四圓九十五錢先二百六十三圓四十錢の安値に寄付け大引は當四十四圓先四十四圓……方下押し

仁川正米市場

阪地正米安さ釜山群山の氣崩れに買氣の一頓挫を來したる當正米市場は形勢相變らず不良にして三等合格十九圓八十錢地拂十八圓七十錢見當を唱へられしも買方見送りの爲め歩々しき商內行はれず
大豆は內地の注文杜絶の一面產地荷の增加に伴ひ……

仁 期 川 米 （福）

釜山正米特電

……

群山正米特電

……

東京期米特電

四日前場寄付

大阪期米特電

四日前場寄付

過去の辛苦は徒勞ならず
今や足袋界の王者アーー榮ある
㊥別珍たび
見本各一圓廿錢を要す
發賣元
東京・日本橋區本銀町四
松井良輔商店
振替東京一五一四二 電話本局二八二八

新案携帶マッチ入 前金に限り送料拾錢五拾錢
御註文は代用郵券一割增但し五拾錢以下
特製本品は純和洋共作ニツケル製で優美で堅牢便利なもので ツチが自由に使用できる點が本品の特徵で美しく出來て居ます 各學生諸氏及び次第急送す
東京芝區愛宕下町四ノ三 振替東京四八〇七〇 市場報告所

安價提供
ストーブ各種新荷着
金物商 京城本町一丁目
佐野彥藏商店
電話一六三番 振替口座京城二一〇番

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町二丁目
石川醫院
電話一三九〇番

特許出願中
飯の冷えぬおひつ
僅かの火を入れて置けばいつでも炊きたて同樣の温かいおいしい御飯がめしあがれます
蒸した御飯がまずく坦隨で喫めた御飯は臭くなりますが飯のひえぬおひつの御飯は味が變りません
京城龍山は持參致します 御入用の方は御申越下さい
說明書進呈 龍山漢江通り十三（郵便局前）
朝鮮發賣元 卯尾崎武三郎
電話長七六三番

皮膚を絶對に荒らさず
美しくお顔直しが出來る
御園紙白粉
東京 伊東胡蝶園
定價金三十錢

新製 御園紙白粉

新製御園紙白粉の特質は……
白粉は純無鉛の優良な原料を用ゐ、之に床しい上品な香料を配合し、全然新式の操作によつて謹製したものですから、白粉が程よく着き皮膚を絶對に荒らしません
芝居見物、旅行、散歩等の節に汗や埃の爲にお化粧が崩れましても、僅か一枚の紙片で輕く押へる樣にしてお直しになりますと、美事に美しく直す事が出來ます
殊に脂が易く除ますので

本舖 伊東胡蝶園
發賣元 丸見屋商店（六）

連絡船上陸客

三日朝入港の新羅丸上陸船客 一等十一名、二等七十四名、三等三百十六名、外人九名
二日夜入港の壹岐丸上陸船客 一等二名、二等二名……
三日夜入港對馬丸上陸船客 ……

高氣壓は支那北部に遷達してそれより次第は南方に向ひて減少しつゝあり全鮮曇天にして偏北……

日出 午前七時四十五分 / 日入 午後五時十五分 / 潮高 仁川 午前一〇時五分

曙 あけぼの

徳田秋聲 (挿畫) 近藤紫雲

第十一回

介抱人 (六)

そこへ乳母やのお篠が今茲四つになる貞子を風呂へ入れにつれて來たので、湯殿が俄に賑かになつて來た。

『おや、お孃ちやんも風呂ですか』と、お須磨は子供にまでお愛相を言つた。そして湯なぞを汲んでやりながら『お孃ちやん幾歳でいらつしやいますの』と乳母やに訊ねた。

『お四つになんなさいます』と乳母やは應へた。

『結構でございますね。こんな好いお子さんがあつて』お須磨は羨ましさうにいつた。

『貴女は子供をおもちになつたことがございませんの?』絢子は餘り無愛相にしてゐられないので、さう言つて聞いてみた。

『いゝえ一度も……』と、お須磨は淋しげな目で彼女の顔をながめながら『もう迚もそんな望みはございませんわ』

『何うしてでせう?』

『さあ何うしてでせう』お須磨は苦笑して『やつぱり苦勞するせいでせうかね。ほんとうに私なぞは、女の數にも入らないくらゐのものなんですわ』

『そんな事もないでせう』絢子は憫むような目容をして『あなたはお幾歳におなんなさいますの』

『もう、お婆さんでございますわ』お須磨はまた苦笑して『それに私は小さい時分から父に別れてゐましたし、母も不幸な境遇にゐましたから、私もそれにつれて、餘り好いことはございませんでしたの』

『さうですか。ぢや今お母さまとお二人きり?』『いゝえ、父がゐますの、さうと言つても名ばかりですけれど』

『お兄弟は……』

『ございませんのよ。私の父は大學出の人なんださうですけれど、私寫眞で顔を見知つてゐるくらいなんですの』

『さう』と絢子は之れ以上深入りすることを憚かつて、口を噤んでしまつたが、いづれ不幸な身の上だらうとは想像された。

『こちらへ參つたのも、實は私の氣に進まないとだつたんですけれ……』とお須磨はまだ何か話したさうな樣子で『でも斯うしてお世話になるのも、何かの御縁でございませうから、何ぞ何分よろしくお願ひいたしますわ』

『私こそ』絢子は聊少に應へた。

と其處へまたお仲が一人廊下をぱた〳〵と駈けて來て、湯殿口から顔を出した。

『あの、旦那さまがお歸りなさいました』

『さう!』とお須磨は緊張した表情になつて『ぢや今直き上りますわ』

そして彼女は急いで今一度湯に浸つた。

『さあ、お孃ちやまがお歸りですよ。早く綺麗になつてお傍へ行きませうね』と、お篠も玉のような貞子の膚を洗ひながら言つた。

お須磨は『お先へ失禮いたします』と、あたふた湯殿を出て行つたが、絢子も『ちと御話にいらして下さい』と、お愛相を言つた。

そんな事があつてから、絢子は時々須磨と親しく語を交はしたが、男の父子は何故かそれを悦ばなかつた。彼は出來るだけお須磨と絢子との交渉を絶たうとしてゐるらしく、お須磨が絢子と話でもしてゐる處を見ると、直に顔色が曇つたので、絢子も出來るだけお須磨に接近しないやうにと氣をつけてゐたが、生家の負債の一件が始終氣にかゝつてゐたので、折があつたら、『阿爺』に話てみようと思ひながら、何時言出すといふ機會もなくて、その儘に日が過ぎた。

するうち良人辰衛の歸朝が日に〳〵迫つて來たので、彼女はさすがに嬉しいような氣がして毎日良人を迎へる爲めの部屋の裝飾などに腐心してゐた。

各種の染物は(龍山三角地)の
京都出張 京屋京染店
新見本種々 長電話七五一一番 振替京城八壹貳壹番

新龍山三角地西へ入る
新龍山齒科醫院
東京齒科醫學士 廣瀨文質

讀者ろん

△清い藝術に生きんとする新らしい人々よ!この頃の日報歌壇の振はないのを嘆かないですか日毎鶴首して待つ京日報に歌壇のない日ほど淋しい日はありませんどうか諸賢、目さむるばかり日報歌壇を復活させて下さい(T N生)

△十二月二日午後宅のまへに龍本町四(櫻原ミツ様)の貯金通帳がおちて居りましたので、そのまゝ宅でおあづかりして居ますお氣づきでしたら左記の所まで取りにいらして下さい(櫻井町二ノ二百十一番地)

△近頃某中學校に於て授業中生徒が樂書をしてゐたといふので其の教師は物も云はずに生徒の頭をポカン〳〵と二つ三つ拳固をかませたさうである而るに其生徒は一つも抵抗しないで溫順にしてゐたさうであるいかに樂書をして教師のいふことをきかないといへども突いたりなぐつたりしなくてもよいではないか言ふてきかぬならまたしも小學校の生徒ぢやあるまいし中等學校の先生にこんな亂暴なものが居るとは知らなかつた(聞いた生)

△十二月二日の讀者欄の十九の女へ申す看護婦志望ならば相談致すべし(南)二千八十一番へお出け下さい(相談相手)

有効確實ニシテ豫後ヲ明セル
マラリア特効丸
定價表 金貳拾錢 參拾錢 五拾錢 壹圓 壹圓五十錢
製劑本舖 龍山元町二丁目 林藥房

俳句 (投句歡迎)

夕燒け靜かなる街を渡る雁 明石 水夜
餘念なく葉燒く人足秋の暮迫る
雨降るまゝカサコソと落葉頻り 熊貝 京子
歸枝の子ら鴨子引いて騷ぎ居る 熊木 漫浪子
霜切れて刈田に空し鳴子哉
泥道に街路樹の落葉頻り 上野 しげる
煙草の灰ハタと落ちて初冬の夜明 曉村
椽子ほして立つ庭面の霜の夜明
ジツと握る手と物足らぬ晩秋の蛋
溫泉の宿に心中談や柳散る 齋藤 紫月
大空の月眺ろす町の人も動く
朝霧の中の汽車の音が恐ろしい 田川 富士香

五の日十の日會句

○
バーの吸殻のいくつの椅子がかろく 浮碧 樓
廁ちる夜更の屋根の霜を覗いたのだ
あるじ召使さなき熱屋の枯れ渉
少女みなマントにつゝまれ石柱が高く
野も山も枯れ〳〵長男は冬らしく
頭巻の弟の自由さにつきがたく 烏 螢
カーネーションの外は裸土の冬
白い襟巻の御倒の笑ましいみすぼらし
泼で切れ〳〵に話しつゞくる 木 孝郎
一俵の炭俵の底をはたはたけり
奈良の冬日に空頁をひくものか
奈良の一本道の姿が先だつ冬日
塔の瓦が雀の踊り場で冬日 色 角子
山ゆきつまるあれかゝり一たてる寒鴉
水跡をたらし生きんとする慾太く 二
牡蠣喰つた草原まろき山の夜 郎
九、一一、二五

正解案第一圖

四	十三	十二	さ		
二	五	三	に	ち	
九	十	十四	十一	八	
二十	七	六	へ		
十九	十五	十六	ろ	は	ほ
い		十七	る		
			ぬ		

十三の變化
△(廿一)勝
△(二十)『い』ならば『ろはに』の四追め
△(二十)『ろ』ならば『い』にて四四の勝
△(廿二)は『い(廿一)』『はに』の四追勝を含む追手なり
△(十八)が(十一)又は『い』ならば『はに』の
△(十八)が(十九)(二十)『ろはにほへとちりぬ』の内ならば(十八)と打ち後『る』又は(十一)(十三)の兩勝
△(十八)反對は(二十)と打ち後(十八)又は『い』の兩勝
△(十四)が(十五)ならば『に』へ(十四)の勝
△(十四)『ろ』ならば(十五)と打ち後『い』(十五)(二十)(十六)又は『い』(十七)(二十)
『はに』の四追勝
△(十五)を『に』打ち(十六)を『と』に止めさせて次ぎに(十七)と打つも得
本圖と等しき珠數の打上げを本圖の(十七)を示せしは齋藤由村の兩氏のみなり(出題者高橋星郎)
▲入賞者 ▲一等滿洲奉天北陵農場唯一の正解者齋藤々一郎▲二等京城旭町一ノ六九有吉朝三方西村節波▲三等龍山元町一ノ一三番地二河修方湯淺平▲四等群山府本町高橋雄▲五等櫻井町一の一一八番地田正
△附記 明日は新題を發表す

第二聯珠檢勝案 待正解發表

1と云つて2の無い
最高感冒藥
キナピリン
主效 ●感冒●熱病 ●頭痛●マラリヤ ●インフルエンザ
本舖 大阪、東京、上海 高橋盛大堂藥局
到る所の藥店に販賣す

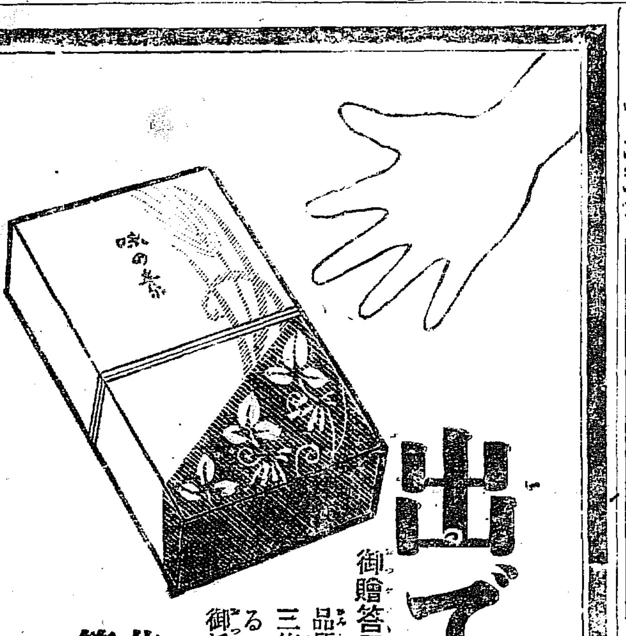
優等清酒
福岡縣三井郡山川村 釀造元 富安本店
京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店 電話長一〇三九番 振替口座四三九番
特約賣捌所

資本金壹千萬圓
頭取 安田善三郎
京城本町二丁目
株式會社 百三十銀行京城支店
電話長五八番 振替貯金京城一九四番 一一三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有

流經新藥 レグリン
月經
閉止四五ヶ月以内に確實に流經作用を以て容易く應用の目的を遂し得られ優秀なる効力を有せり
藥價一瓶貳圓五拾錢 送料四拾五錢切手添申越の事 一割増説明書 振替大阪三八〇番
大阪北區曾根崎上二丁目三六地 常盤藥院

新田耐水調革 新田帯革
朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行
京城南大門外 白神洋行支店

賛化病院
京城府西小門町一丁目 電話二四番
醫學博士 古城憲治
内科 小兒科 入院隨意
毎日五名を限り施療す



出でたり
御贈答用味の素美裝して出づ
品質の實用、體裁の優美、値段の頃合此三條件を具備して一般御家庭に歡迎せらるゝ御贈答品は外に斷じてない是非々々御活用下さいませ。
化粧箱入 味の素
全國各地食料品店にあり。

御贈答用 化粧箱入 味の素定價
一號 金九拾錢
二號 金壹圓七拾錢
三號 金貳圓五拾錢
四號 金參圓廿五錢
五號 金五圓

12—B

コレハ實に立派な目藥だ!!
理想的の眼病良藥
直治水
醫藥學の進歩に伴ひ、深遠なる學理と數多の實驗から、絶對の偉效ありと信認せられたる直治水は、今や智識階級から盛んに賞用せらるゝ新時代の貴重なる眼科新藥である。
眼病良藥 直治水 CHOKUJISUI
主效 ◇トラホーム◇やに目◇雪目 ◇はやり目◇うみ目◇ち目 ◇かすみ目◇めくさ◇星目
藥價 新式點眼器付 二十錢 三十錢
●全國各藥店に取次販賣せり
本舖 大阪市順慶町 東京市須屋町 丹平商會藥房

家庭用
登録商標
みやこ染
改良染料
◎家庭で染物が自由に出來る
みやこ染はどんな素人にも容易く糸、反物類を染らるゝ樣專門技師苦心の結果發明せし唯一の家庭染料にして絞り染に用ひて最も具合宜し
種類 紺、黒、赤、桃色、牡丹、黄 淺黄、萌黄其他十數色
右何れも 小瓶(半反染) 大瓶(一反染) 斤入(十反染)の三種あり
絞り染下繪用 青花 壹袋十錢 送料二錢
賣捌は到る處の藥店荒物店にあり 新聞名記入の上御申越の方へ染色見本進呈
東京市日本橋區小舟町一丁目 家庭染料 みやこ染本舖 かつらや染料店 振替東京三九五番
京城本町一丁目 特約販賣店 山岸天佑堂 電話三七二番二〇一四番 振替京城二〇三番

日本郵船出帆
共同汽船出帆
尼崎汽船出帆
五光汽船出帆
朝鮮郵船定期
大阪商船出帆
歐洲行 一年四回 北米行 毎月四回
南米行 一年四回 孟買行 毎月一回
濠洲行 毎月一回 南洋行 毎月一回
上海基隆 打狗行 基隆丸 十二月 日 後四時
內地各沿岸航路 入津 出帆